

(5)後発医薬品の使用

市町村別後発医薬品処方数量及び使用率 (平成30～令和4年度)

市区町村	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
千葉市	33,286,908(31.9%)	39,201,349(34.4%)	39,830,074(36.1%)	42,562,305(37.8%)	43,497,908(39.1%)
銚子市	4,074,846(36.4%)	4,399,520(37.9%)	4,323,547(37.7%)	4,461,202(39.3%)	4,439,506(41.6%)
市川市	14,621,468(31.6%)	17,105,538(33.0%)	17,274,255(34.6%)	18,565,323(36.2%)	19,442,636(38.3%)
船橋市	21,333,274(33.4%)	24,634,632(35.1%)	24,911,419(36.4%)	26,339,883(37.6%)	26,654,991(38.8%)
館山市	2,774,136(34.4%)	3,263,642(37.1%)	3,429,548(38.5%)	3,586,323(39.7%)	3,655,943(42.3%)
木更津市	4,965,913(31.0%)	6,047,673(33.9%)	6,211,592(35.4%)	6,569,890(36.4%)	6,601,285(36.5%)
松戸市	17,510,124(34.0%)	20,466,960(35.7%)	20,674,577(37.6%)	21,996,619(38.8%)	22,510,656(40.1%)
野田市	6,851,721(38.0%)	7,762,014(39.6%)	7,916,114(41.8%)	8,353,274(43.0%)	8,558,793(44.0%)
香取市	4,334,920(35.0%)	4,624,996(36.3%)	4,824,634(37.4%)	4,888,174(39.5%)	4,730,022(38.6%)
茂原市	3,630,561(32.1%)	4,144,246(33.5%)	4,330,320(35.4%)	4,599,814(37.5%)	4,782,460(40.2%)
成田市	4,222,495(33.6%)	4,951,749(35.4%)	5,044,110(36.0%)	5,234,719(36.7%)	5,301,204(36.8%)
佐倉市	7,339,527(34.8%)	8,884,031(37.4%)	9,152,981(38.7%)	9,796,714(40.3%)	10,127,152(41.5%)
東金市	2,639,320(34.3%)	3,000,726(35.6%)	3,005,849(36.9%)	3,173,874(39.5%)	3,267,581(39.2%)
匝瑳市	2,170,949(37.0%)	2,331,392(39.4%)	2,246,721(40.9%)	2,355,950(40.6%)	2,442,981(44.8%)
旭市	4,454,947(44.5%)	4,900,683(45.4%)	4,772,614(44.7%)	4,797,282(47.0%)	4,498,352(45.1%)
習志野市	5,946,936(36.0%)	6,880,534(38.2%)	6,959,268(39.5%)	7,468,973(41.3%)	7,600,117(41.8%)
柏市	14,172,170(33.3%)	16,413,447(34.6%)	16,872,887(36.5%)	18,073,076(38.5%)	18,791,308(39.9%)
勝浦市	799,369(28.5%)	1,041,464(33.9%)	1,137,706(36.2%)	1,216,059(39.6%)	1,258,239(40.7%)
市原市	11,349,642(34.0%)	13,153,004(36.3%)	13,417,603(37.9%)	14,104,022(39.2%)	14,154,326(40.9%)
流山市	6,435,608(35.2%)	7,492,216(37.4%)	7,701,857(38.6%)	8,055,346(38.8%)	8,174,639(39.3%)
八千代市	6,529,231(31.5%)	7,633,166(33.9%)	7,853,615(36.0%)	8,377,443(37.5%)	8,662,224(38.5%)
我孫子市	4,912,262(32.8%)	5,702,700(34.4%)	5,653,532(36.0%)	6,053,452(38.6%)	6,164,523(39.4%)
鴨川市	1,672,524(31.8%)	1,946,674(34.3%)	2,074,271(36.4%)	2,239,907(38.1%)	2,262,768(40.0%)
鎌ヶ谷市	4,123,262(32.8%)	4,705,983(32.7%)	4,796,689(34.6%)	5,059,118(36.7%)	5,157,582(36.7%)
君津市	3,572,922(33.4%)	4,263,514(35.0%)	4,422,685(37.5%)	4,677,074(38.2%)	4,679,894(40.0%)
富津市	2,381,928(31.7%)	2,910,788(35.6%)	3,089,938(37.7%)	3,207,489(38.3%)	3,292,771(42.0%)
浦安市	4,187,941(31.2%)	5,006,678(34.2%)	5,286,414(36.8%)	5,586,498(36.6%)	5,786,655(38.6%)
四街道市	3,489,827(34.5%)	4,205,497(37.0%)	4,419,120(39.0%)	4,651,238(39.4%)	4,752,812(40.7%)
酒々井町	874,699(36.7%)	1,011,133(39.1%)	1,061,534(41.1%)	1,146,652(40.9%)	1,113,602(42.4%)
八街市	2,708,167(33.2%)	3,167,689(36.2%)	3,184,022(37.6%)	3,339,642(38.8%)	3,397,819(39.8%)
富里市	1,981,667(38.3%)	2,255,416(39.2%)	2,253,848(40.4%)	2,451,015(42.5%)	2,507,027(42.4%)
白井市	2,211,724(33.7%)	2,581,276(35.8%)	2,719,561(37.9%)	2,927,036(38.4%)	2,989,696(39.5%)
印西市	3,278,091(34.9%)	3,843,949(36.1%)	4,019,184(36.2%)	4,432,672(38.4%)	4,515,843(39.7%)
栄町	966,744(34.5%)	1,127,706(36.0%)	1,193,787(38.2%)	1,195,705(40.0%)	1,217,970(41.4%)
一宮町	505,217(29.9%)	585,981(32.5%)	587,527(36.5%)	602,046(36.8%)	597,219(37.8%)
睦沢町	439,718(43.7%)	506,749(44.5%)	519,195(43.5%)	563,338(48.6%)	536,871(48.6%)
長生村	594,982(31.9%)	657,893(34.2%)	749,477(36.4%)	822,282(37.4%)	807,639(37.5%)
白子町	689,029(35.8%)	801,903(38.0%)	818,508(39.7%)	845,521(40.8%)	848,469(40.2%)
長柄町	363,446(32.7%)	423,797(37.6%)	393,186(38.3%)	404,357(37.7%)	414,194(40.6%)
長南町	343,982(25.9%)	395,454(29.0%)	423,828(30.3%)	471,816(32.0%)	540,215(38.1%)
大網白里市	2,100,600(30.7%)	2,539,318(35.2%)	2,591,320(36.5%)	2,798,613(39.0%)	2,891,414(39.9%)
九十九里町	919,913(33.1%)	1,061,413(37.6%)	1,046,551(40.4%)	1,103,627(40.4%)	1,126,586(39.4%)
芝山町	440,932(39.7%)	492,087(41.5%)	513,614(45.1%)	532,502(47.4%)	501,023(47.2%)
神崎町	294,223(35.5%)	326,979(36.5%)	332,447(37.8%)	329,461(37.9%)	335,237(42.8%)
多古町	826,222(32.2%)	937,266(34.2%)	949,754(35.1%)	976,633(38.2%)	1,056,848(42.0%)
東庄町	746,863(31.2%)	877,411(31.9%)	844,524(30.1%)	826,260(32.2%)	765,530(30.5%)
袖ヶ浦市	2,117,041(32.3%)	2,498,192(34.5%)	2,544,027(36.3%)	2,723,918(37.6%)	2,807,201(36.4%)
大多喜町	399,625(29.0%)	455,121(31.9%)	489,556(35.5%)	542,789(37.2%)	513,940(40.6%)
御宿町	404,370(29.4%)	517,775(34.7%)	560,182(35.1%)	614,647(40.3%)	585,827(41.2%)
南房総市	2,842,098(36.3%)	3,205,354(38.3%)	3,218,876(39.7%)	3,480,393(41.9%)	3,410,600(43.2%)
鋸南町	546,735(36.1%)	590,111(35.3%)	612,040(36.8%)	669,560(40.0%)	606,504(38.3%)
いすみ市	1,946,603(31.5%)	2,310,986(36.4%)	2,485,497(39.0%)	2,643,320(40.6%)	2,689,719(40.1%)
山武市	2,749,200(36.8%)	3,134,103(36.4%)	3,169,699(38.8%)	3,238,441(40.6%)	3,280,253(43.2%)
横芝光町	1,571,797(40.9%)	1,699,795(43.8%)	1,736,531(44.5%)	1,846,486(46.9%)	1,797,982(46.4%)

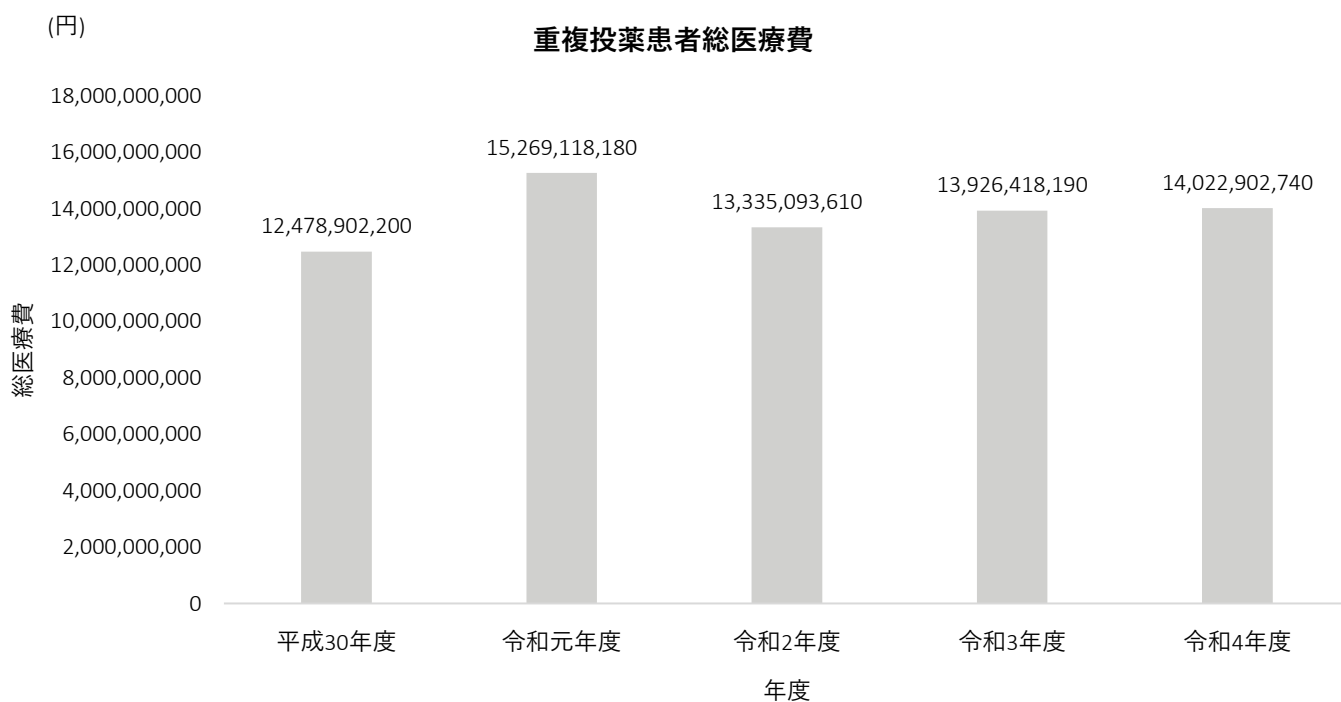
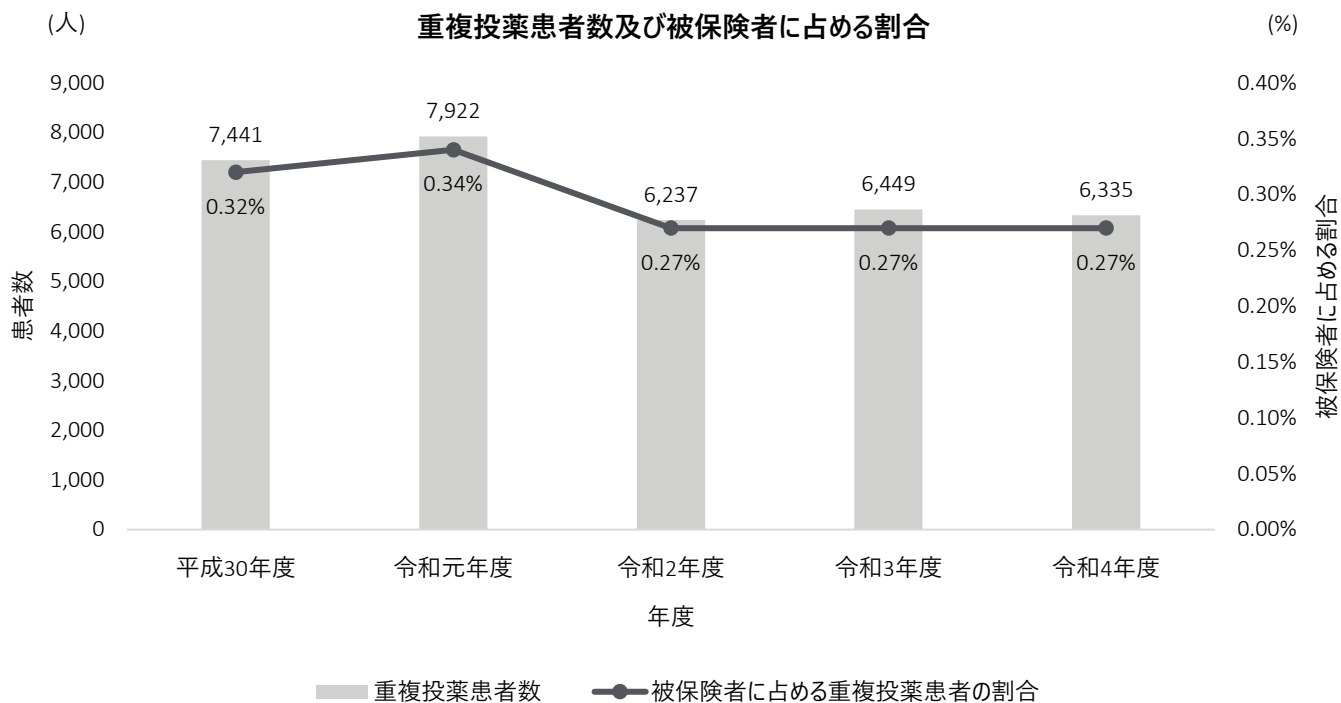
(6)医薬品の重複投薬

- 1) 対象データ :KDBより「医療摘要」「被保険者台帳」
 2) 対象者 :国民健康保険被保険者
 3) 評価指標及び分析方法: :評価指標及は表の通り

項目	指標	定義等
重複投薬	重複投薬患者数及び被保険者全体に占める重複投薬患者割合	重複投薬：同一月に同一の9桁の医薬品コードの医薬品が3医療機関以上から重複処方されているもの
	薬効分類別重複医薬品割合	薬効分類については、それぞれ上位12種類まで集計
	重複投薬患者総医療費、薬効分類別重複患者一人当たり医療費、重複投薬患者一人当たり医療費と非重複投薬患者一人当たり医療費の比較	

(6)医薬品の重複投薬

県全体の重複投薬患者数及び被保険者に占める割合、重複投薬患者総医療費 (平成30～令和4年度)

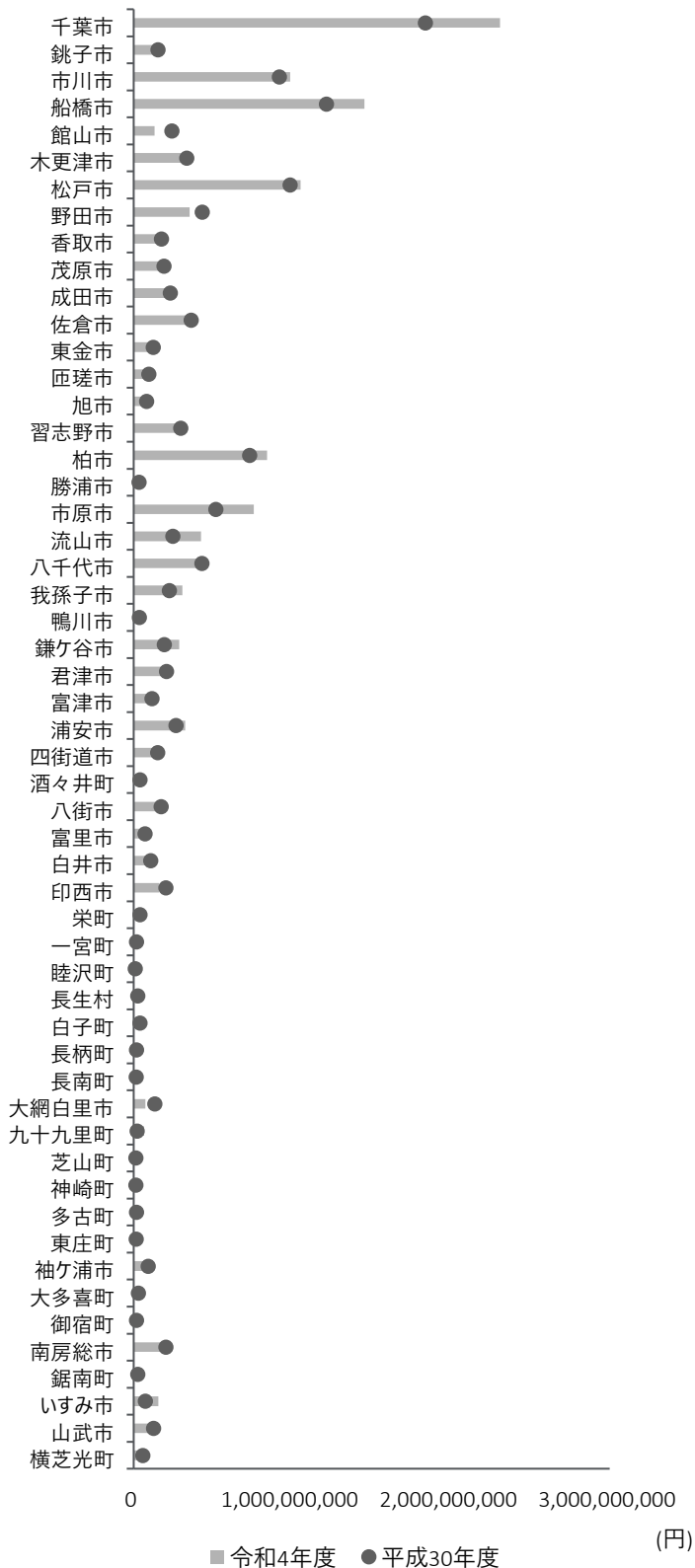
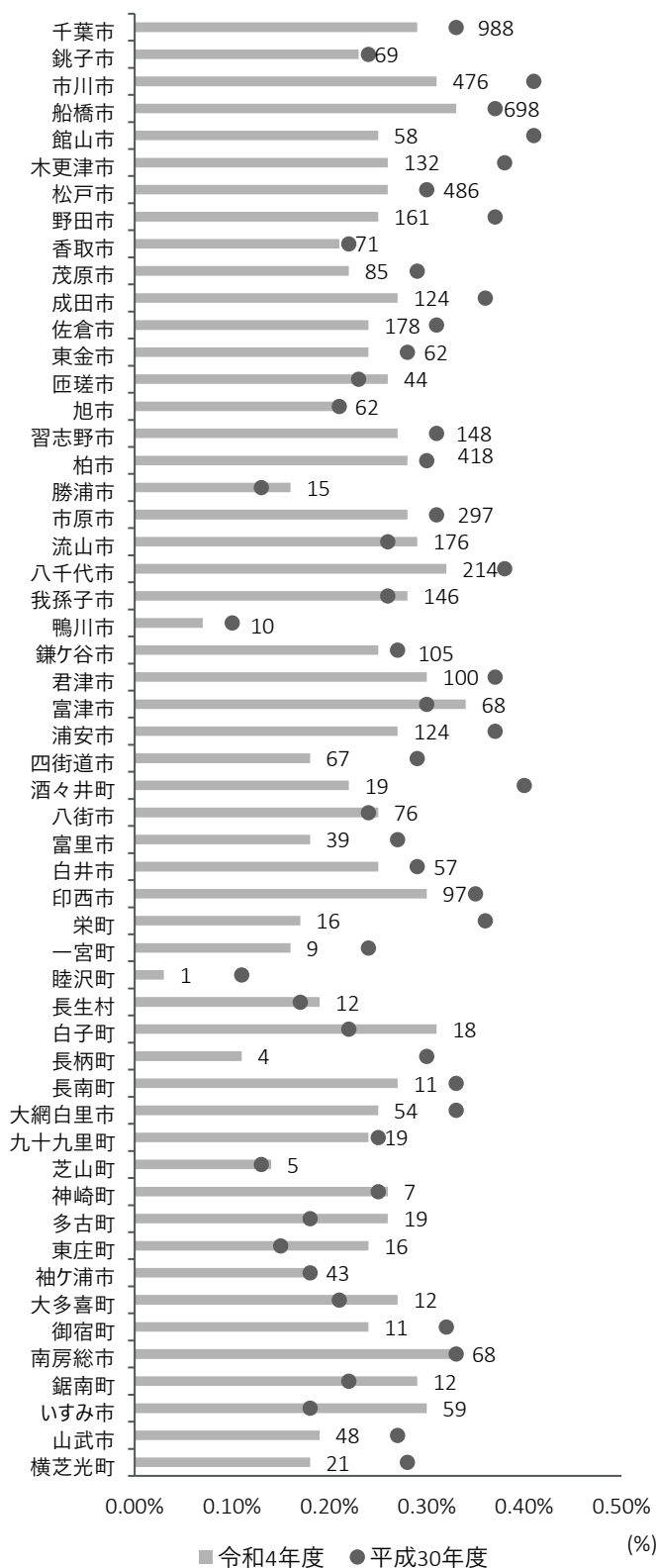


(6)医薬品の重複投薬

市町村別重複投薬患者数及び被保険者に占める割合、重複投薬患者総医療費(平成30～令和4年度)

市町村別被保険者に占める重複投薬患者割合

市町村別重複投薬患者総医療費



※ グラフ内の数値は令和4年度の人数

出所：KDBデータ（平成30年度～令和4年度）を用いてトーマツ作成

(6)医薬品の重複投薬

県全体の薬効分類別*重複医薬品割合及び患者1人当たり医療費 (平成30～令和4年度)

薬効分類別重複医薬品割合

薬効分類	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
264	14.6%	14.8%	14.4%	13.8%	14.1%
131	12.8%	12.9%	12.3%	11.0%	7.5%
114	12.6%	11.1%	10.1%	10.5%	10.5%
232	6.5%	7.5%	9.3%	9.3%	8.9%
263	6.5%	6.7%	9.1%	9.2%	10.2%
333	5.4%	6.3%	6.8%	6.2%	5.9%
112	4.6%	4.5%	5.0%	4.7%	4.5%
339	4.1%	4.5%	5.0%	5.2%	4.7%
223	3.5%	2.8%	0.8%	1.5%	1.7%
119	3.4%	3.9%	3.8%	3.0%	3.6%
117	2.9%	2.7%	3.1%	2.8%	2.5%
231	2.8%	2.7%	2.4%	3.3%	3.3%

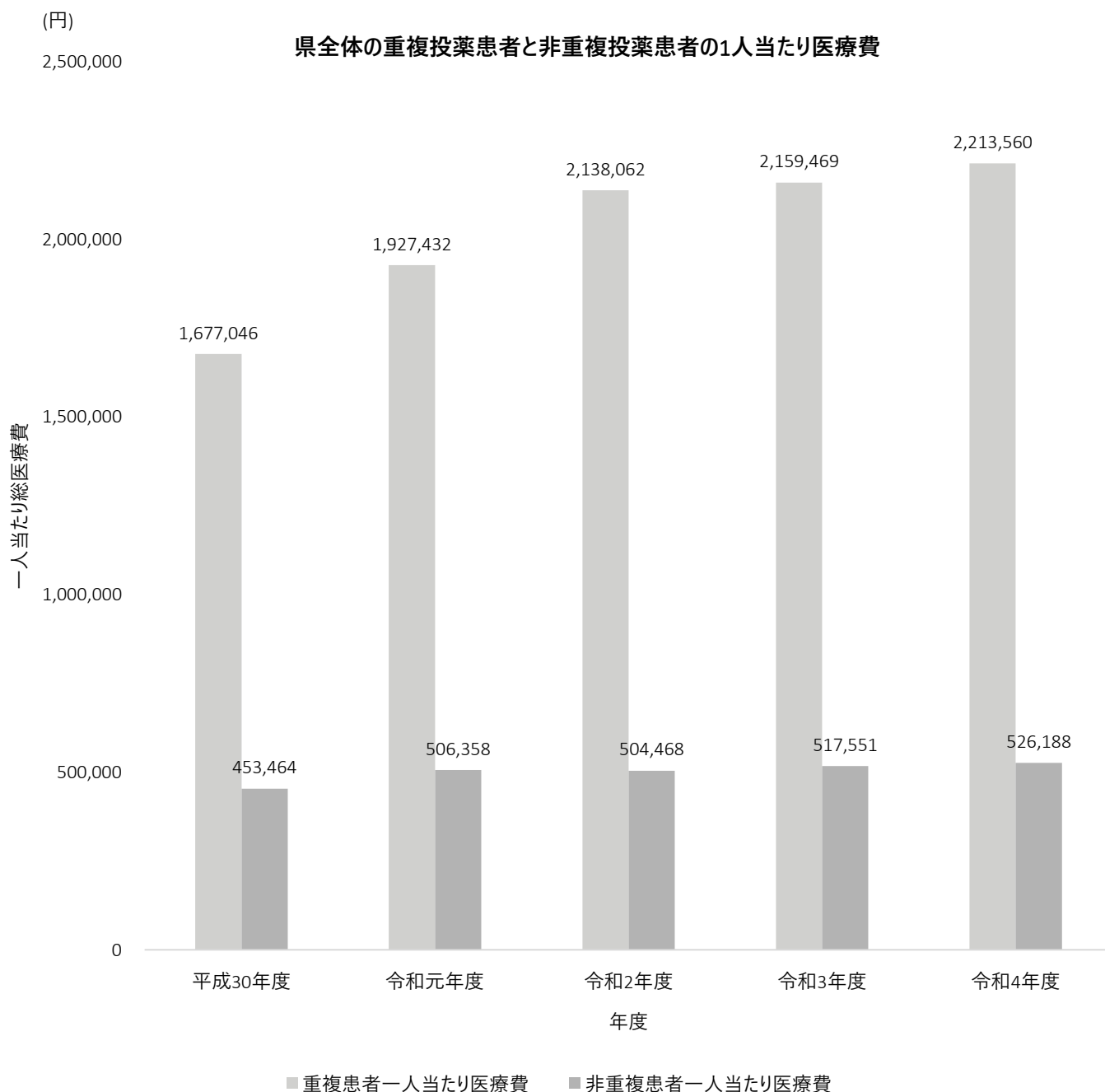
患者1人当たり医療費

薬効分類	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
264	1,019,809	1,137,725	1,081,593	1,127,301	973,801
131	1,290,232	1,219,551	1,284,189	1,402,120	1,520,749
114	1,952,421	2,033,379	2,332,612	2,346,114	2,426,527
232	2,892,470	3,006,184	3,131,960	3,315,816	3,773,622
263	1,340,094	1,747,440	1,627,904	1,340,041	1,532,650
333	2,700,314	3,152,456	2,973,098	3,409,866	3,543,871
112	1,634,532	1,716,421	1,720,045	1,781,518	1,854,418
339	3,882,730	4,165,982	4,767,221	4,608,104	5,019,916
223	653,919	701,091	1,996,847	1,040,748	825,751
119	2,820,487	3,425,595	3,848,165	3,713,240	3,545,409
117	1,827,354	2,234,343	2,346,099	2,623,522	2,205,254
231	2,408,091	2,753,595	3,876,186	3,640,021	3,995,459

*紙面においては薬効分類のうち患者数上位10分類を表示

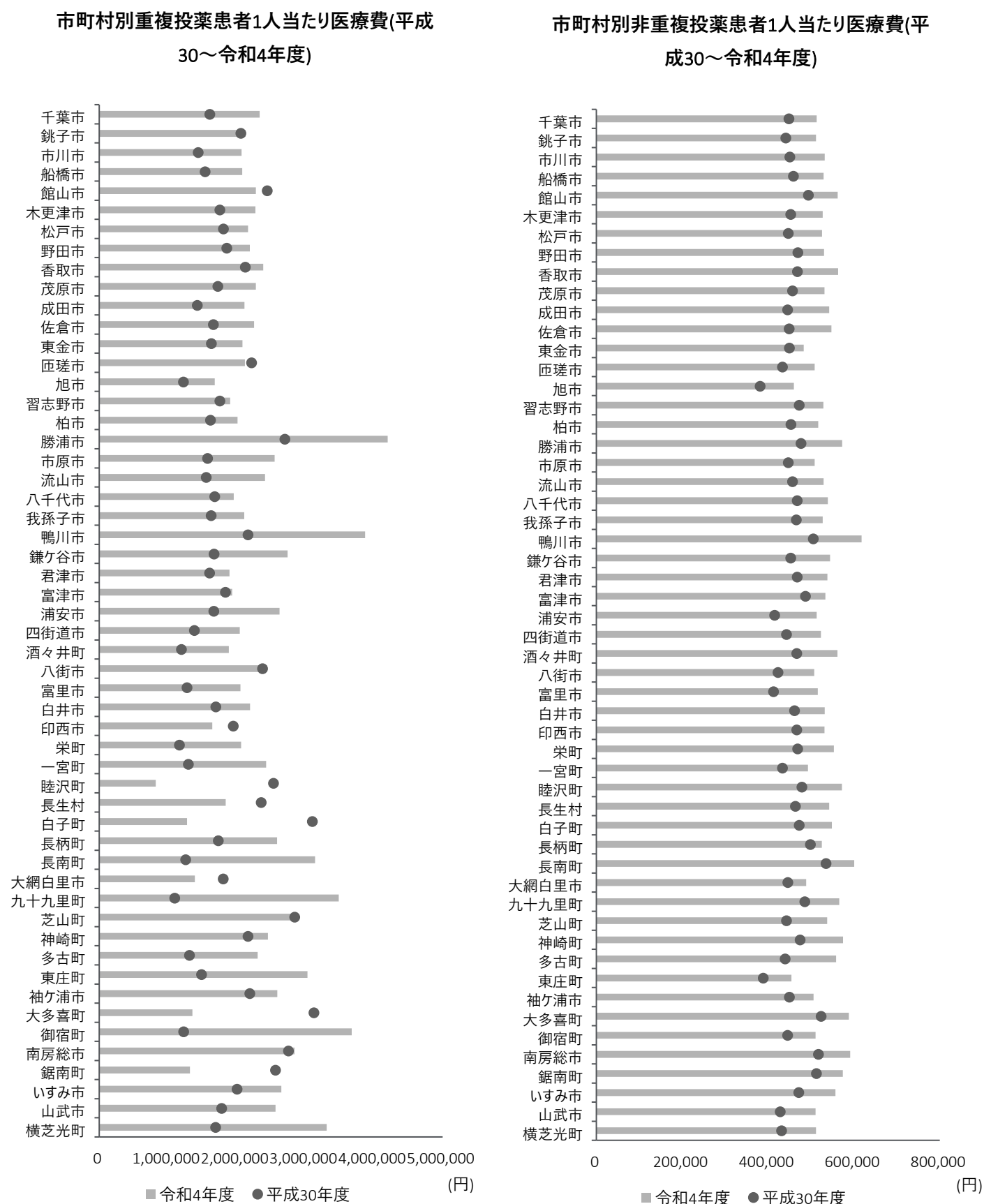
(6)医薬品の重複投薬

県全体の重複投薬患者と非重複投薬患者の1人当たり医療費
(平成30～令和4年度)



(6) 医薬品の重複投薬

市町村別重複投薬患者と非重複投薬患者の1人当たり医療費 (平成30～令和4年度)



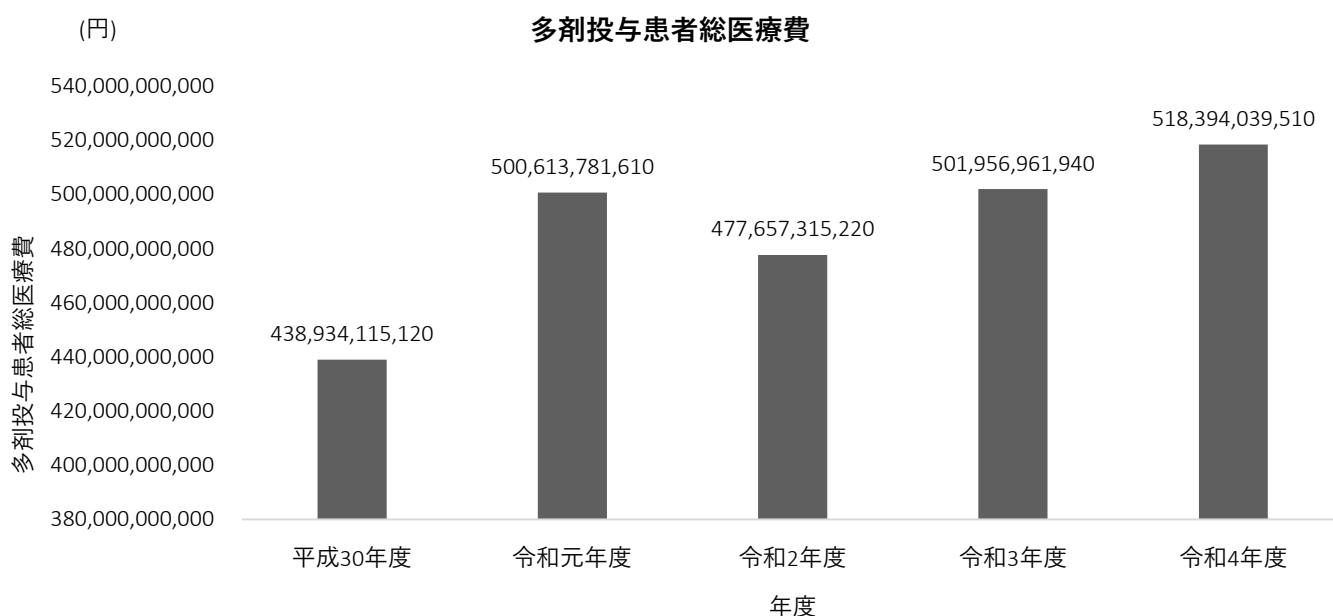
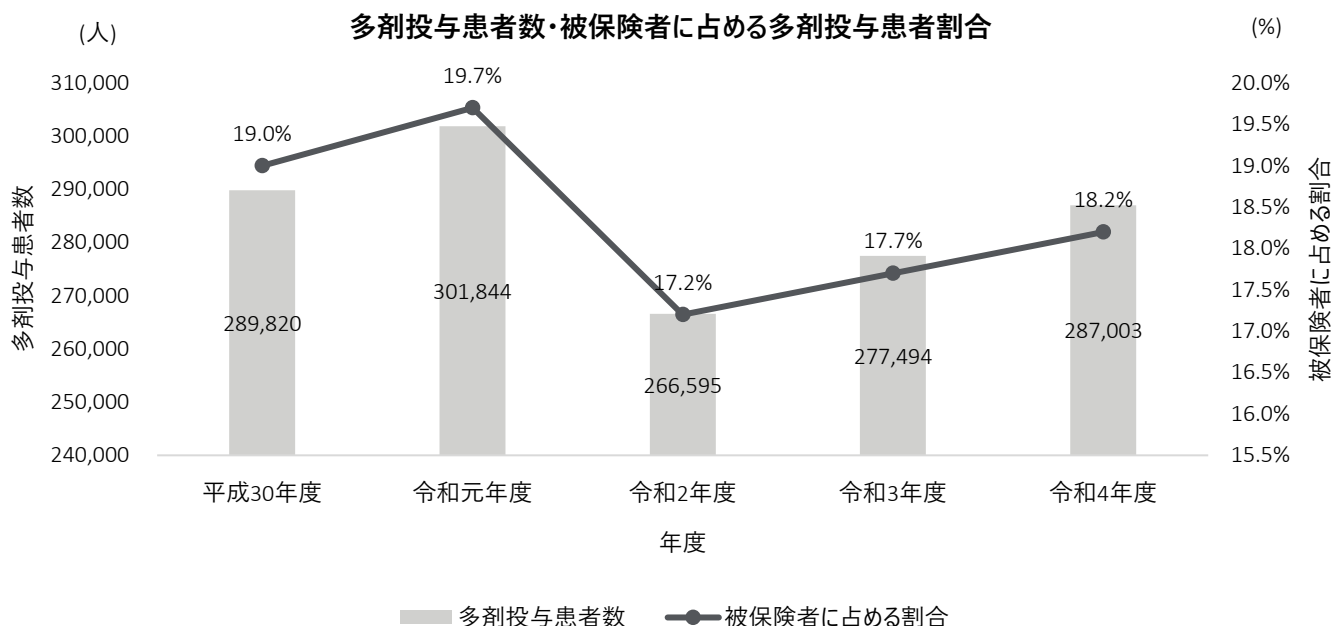
(7)医薬品の多剤投与

- 1) 対象データ :KDBより「医療摘要」「被保険者台帳」
 2) 対象者 :国民健康保険被保険者
 3) 評価指標及び分析方法: :評価指標及は表の通り

項目	指標	定義等
多剤投与	多剤投与患者数及び被保険者全体に占める多剤患者割合	多剤投与：同一月に合計で15種類以上の薬剤を処方されているもの
	薬効分類別多剤医薬品割合	薬効分類については、それぞれ上位10種類まで集計
	多剤投与患者総医療費、薬効分類別多剤患者一人当たり医療費	
	多剤投与患者一人当たり医療費 非多剤投与患者一人当たり医療費	
重複投薬・多剤投与	多剤・重複投与患者の改善率	前年度多剤投薬/重複投与されていた患者が当該年度も多剤投薬/重複投与される割合

(7)医薬品の多剤投与

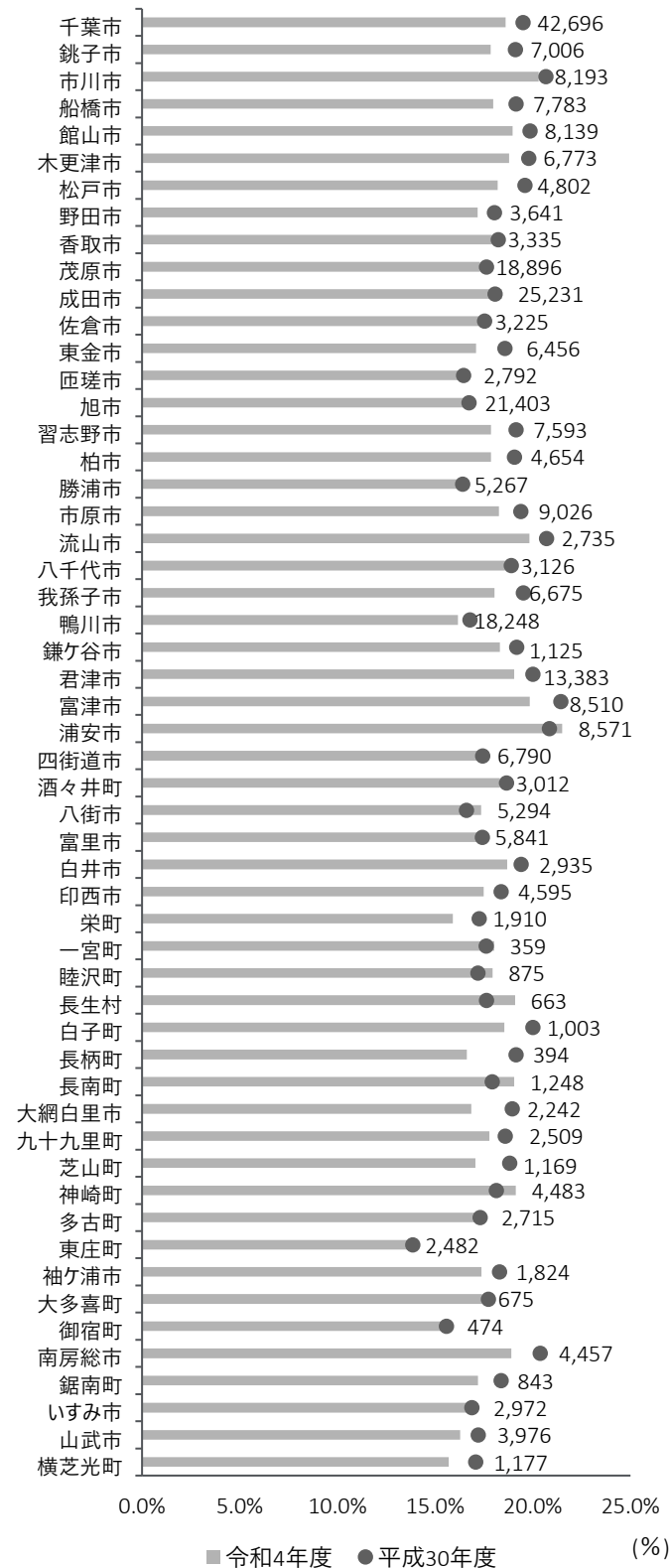
県全体の多剤投与患者数及び被保険者に占める割合、多剤投与患者総医療費(平成30～令和4年度)



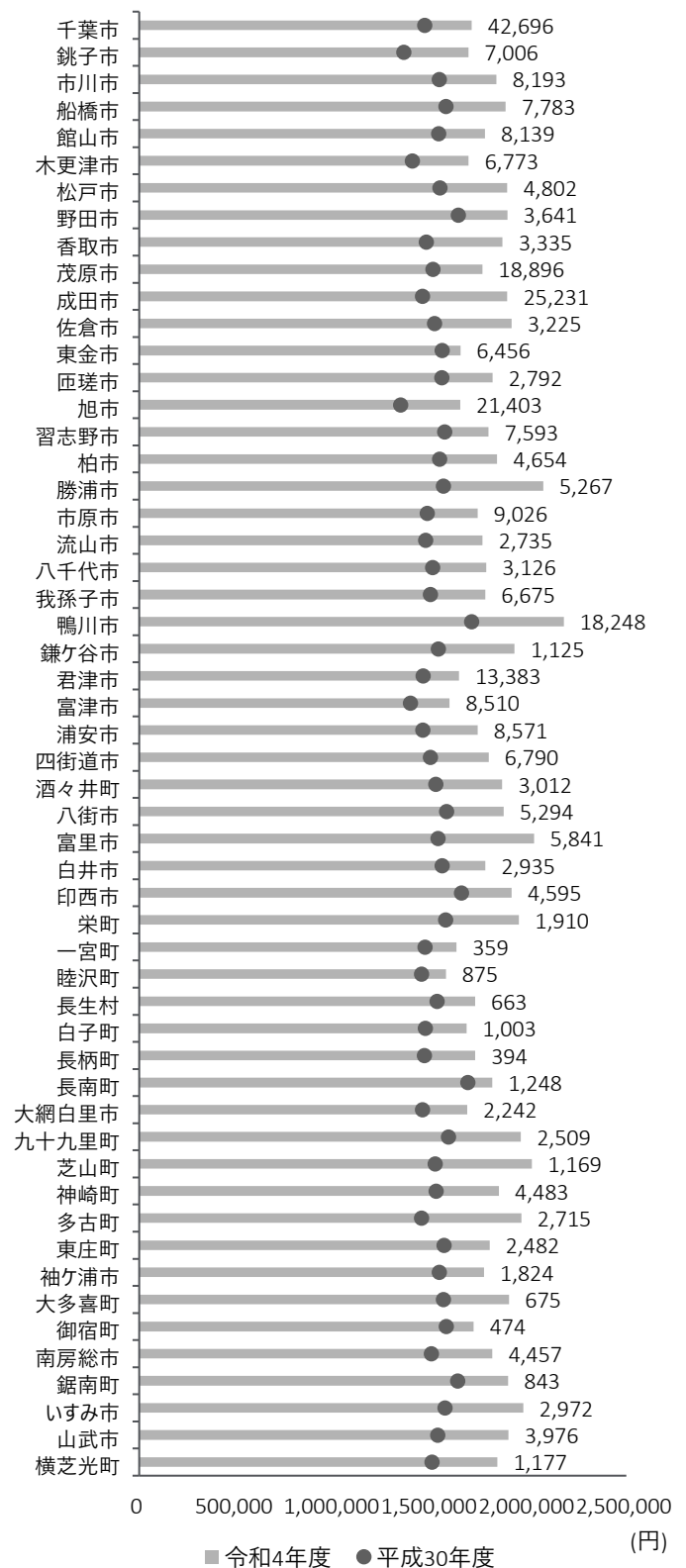
(7)医薬品の多剤投与

市町村別多剤投与患者数及び被保険者に占める割合、多剤投与患者総医療費(平成30～令和4年度)

市町村別被保険者に占める多剤投与患者割合



市町村別多剤投与患者の1人当たり医療費



※ グラフ内の数値は令和4年度のみ多剤投与患者数

出所：KDBデータ（平成30年度～令和4年度）を用いてトーマツ作成

(7)医薬品の多剤投与

県全体の薬効分類別*多剤医薬品割合及び患者1人当たり医療費 (平成30～令和4年度)

薬効分類別多剤医薬品割合

薬効分類	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
232 消化性潰瘍用剤	83.2%	83.0%	83.2%	82.8%	82.5%
114 解熱鎮痛消炎剤	81.1%	81.7%	79.9%	82.8%	82.3%
264 鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	76.5%	76.8%	76.8%	76.3%	75.7%
331 血液代用剤	73.2%	74.5%	74.0%	74.2%	74.3%
121 局所麻酔剤	70.2%	71.6%	71.8%	72.1%	71.5%
613 主としてグラム陽性・ 陰性菌に作用するもの	63.8%	64.7%	62.3%	61.9%	61.7%
131 眼科用剤	58.1%	58.6%	56.0%	55.6%	57.0%
214 血圧降下剤	55.6%	55.6%	57.0%	57.5%	57.2%
217 血管拡張剤	55.1%	55.4%	57.1%	57.1%	57.0%
333 血液凝固阻止剤	49.0%	49.9%	52.7%	52.9%	52.3%

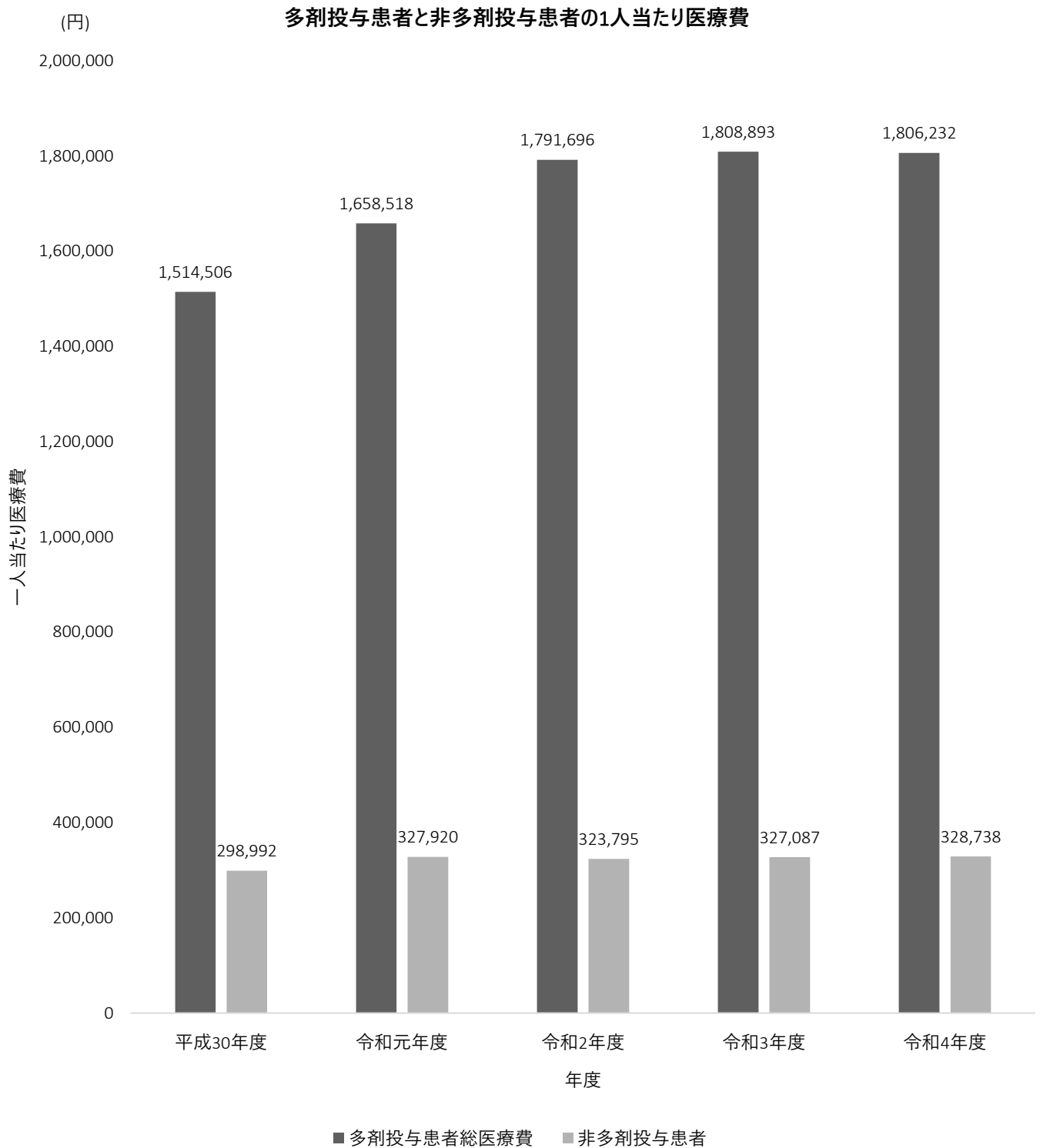
患者1人当たり医療費

薬効分類	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
232 消化性潰瘍用剤	1,588,609	1,740,595	1,876,881	1,898,399	1,897,786
114 解熱鎮痛消炎剤	1,581,775	1,730,676	1,896,830	1,899,819	1,902,148
264 鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	1,522,632	1,672,526	1,803,239	1,817,678	1,816,130
331 血液代用剤	1,816,294	1,967,966	2,140,312	2,158,032	2,156,329
121 局所麻酔剤	1,726,691	1,867,507	2,008,187	2,016,773	2,018,892
613 主としてグラム陽性・ 陰性菌に作用するもの	1,792,997	1,938,302	2,147,462	2,165,311	2,172,594
131 眼科用剤	1,281,241	1,408,195	1,506,469	1,525,225	1,515,640
214 血圧降下剤	1,599,465	1,750,526	1,876,587	1,902,644	1,891,680
217 血管拡張剤	1,642,614	1,801,681	1,922,218	1,948,111	1,949,819
333 血液凝固阻止剤	2,117,424	2,297,413	2,413,405	2,427,500	2,430,903

*紙面においては薬効分類のうち上位10分類を表示

(7)医薬品の多剤投与

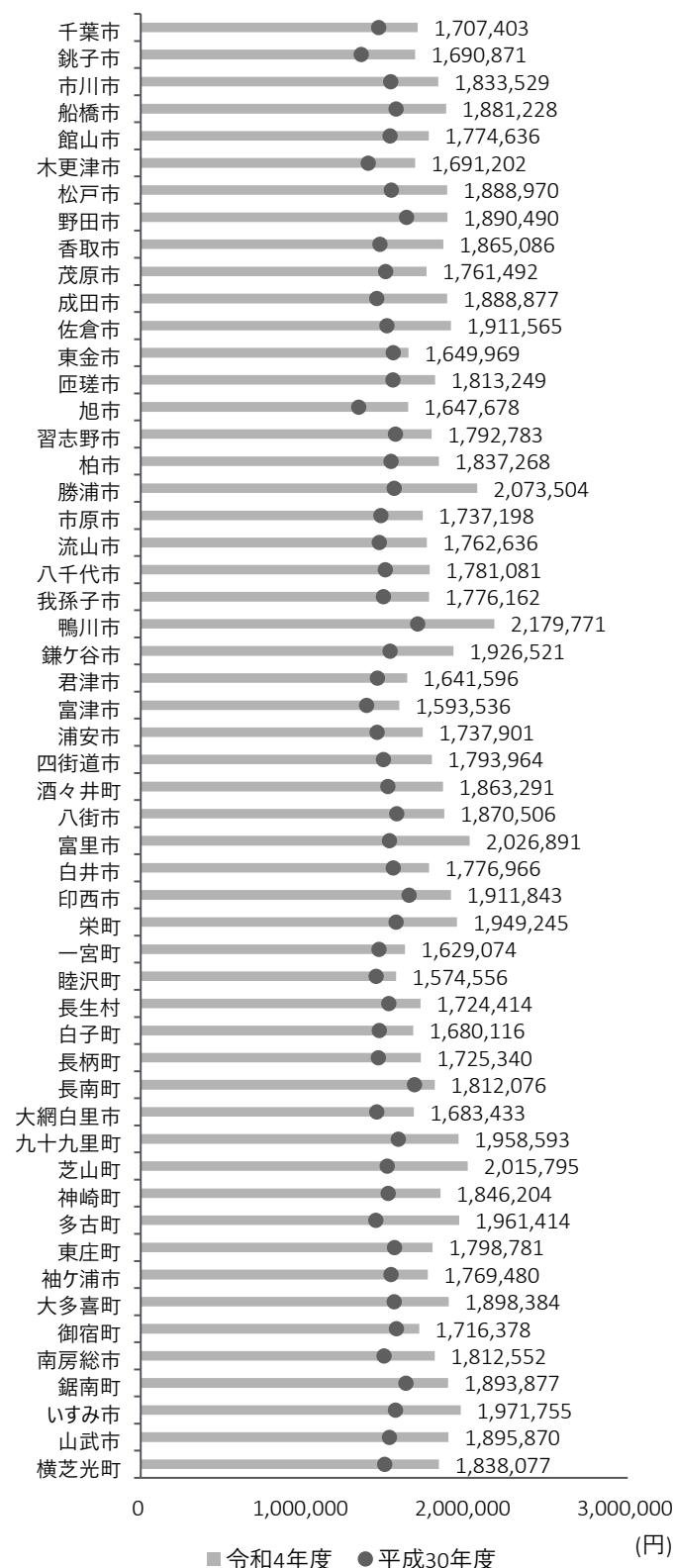
県全体の多剤投与患者と非多剤投与患者の1人当たり医療費
(平成30～令和4年度)



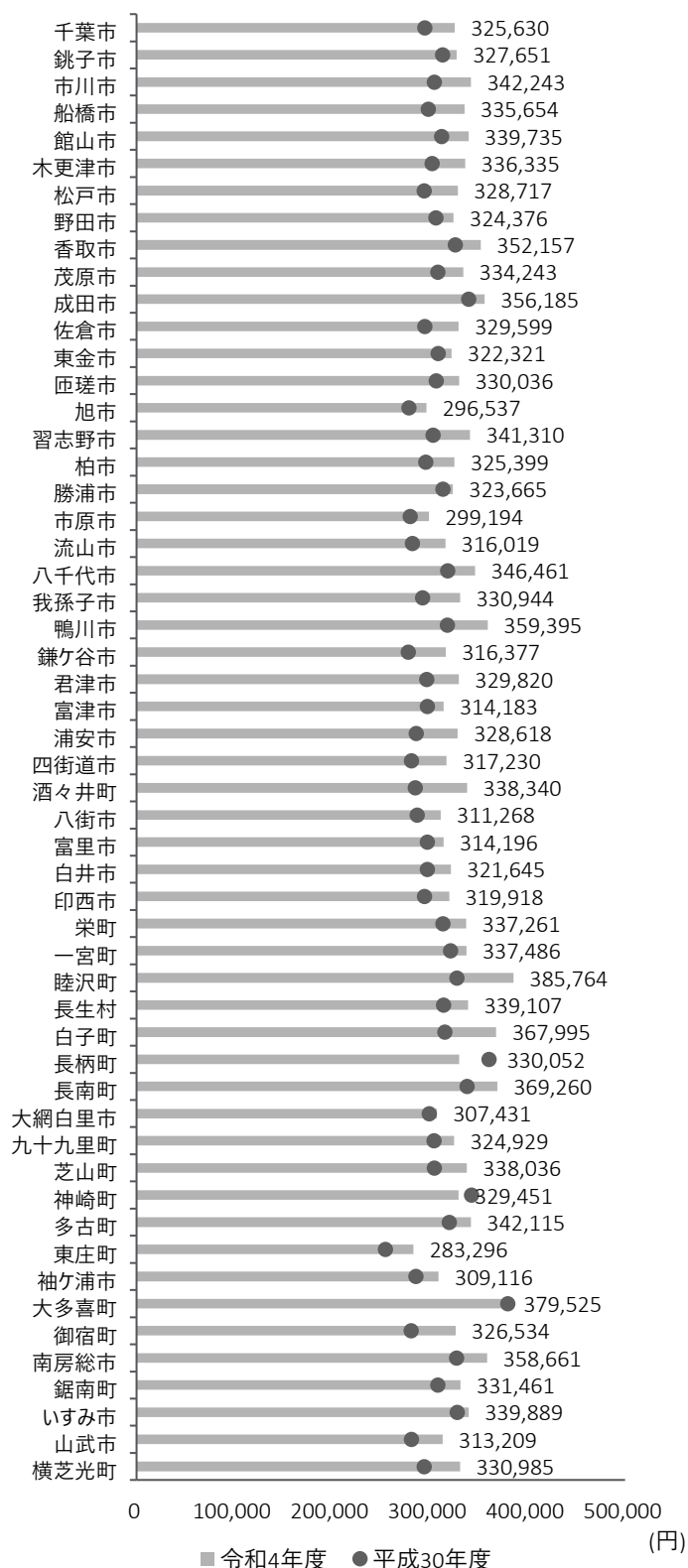
(7)医薬品の多剤投与

市町村別多剤投与患者と非多剤投与患者の1人当たり医療費 (平成30～令和4年度)

市町村別多剤投与患者の1人当たり医療費



市町村別非多剤投与患者の1人当たり医療費

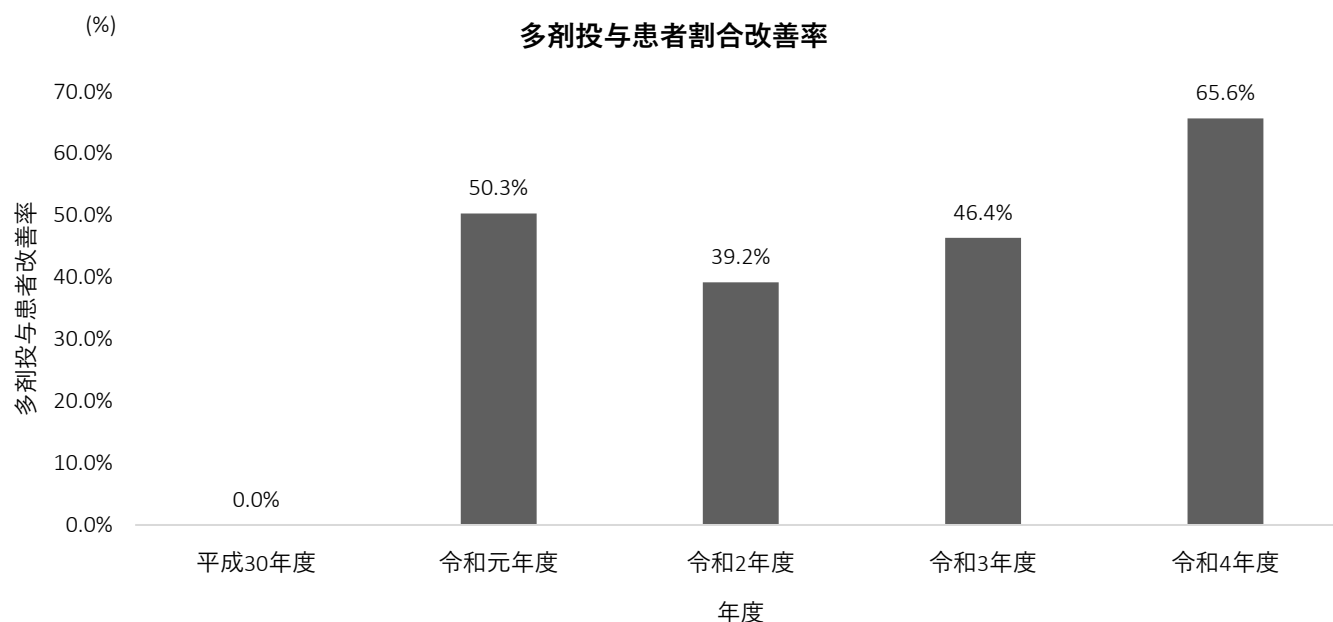
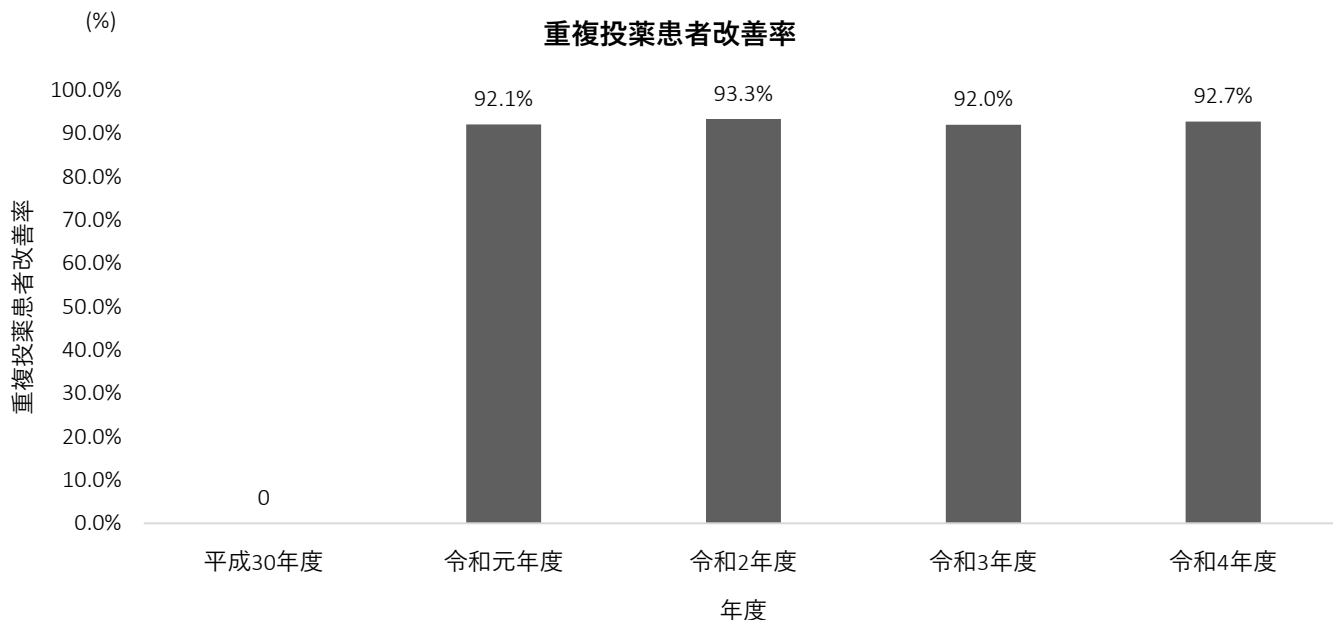


※ グラフ内の数値は令和4年度の1人当たり医療費

出所：KDBデータ（平成30年度～令和4年度）を用いてトーマツ作成

(6),(7)医薬品の重複投薬・医薬品の多剤投与

県全体の重複投薬患者・多剤投与患者改善率*(令和元～令和4年度)



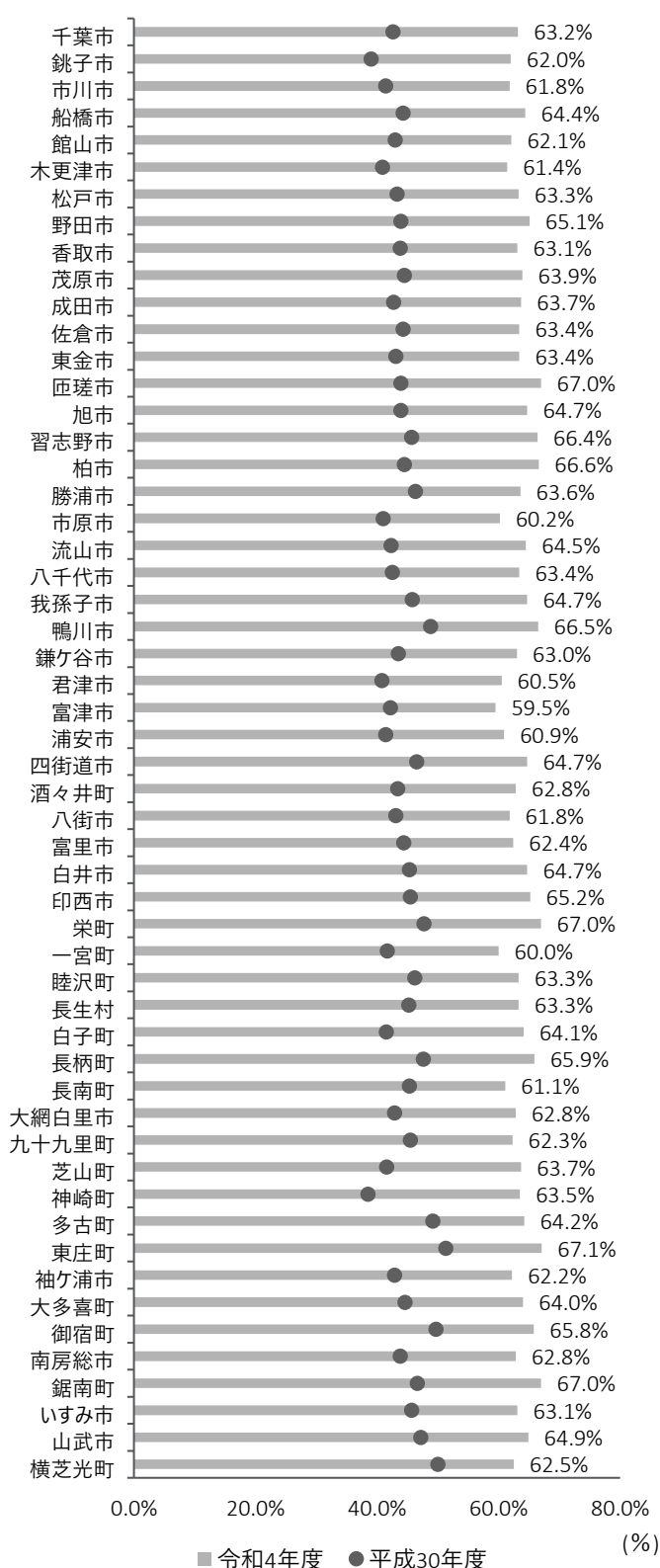
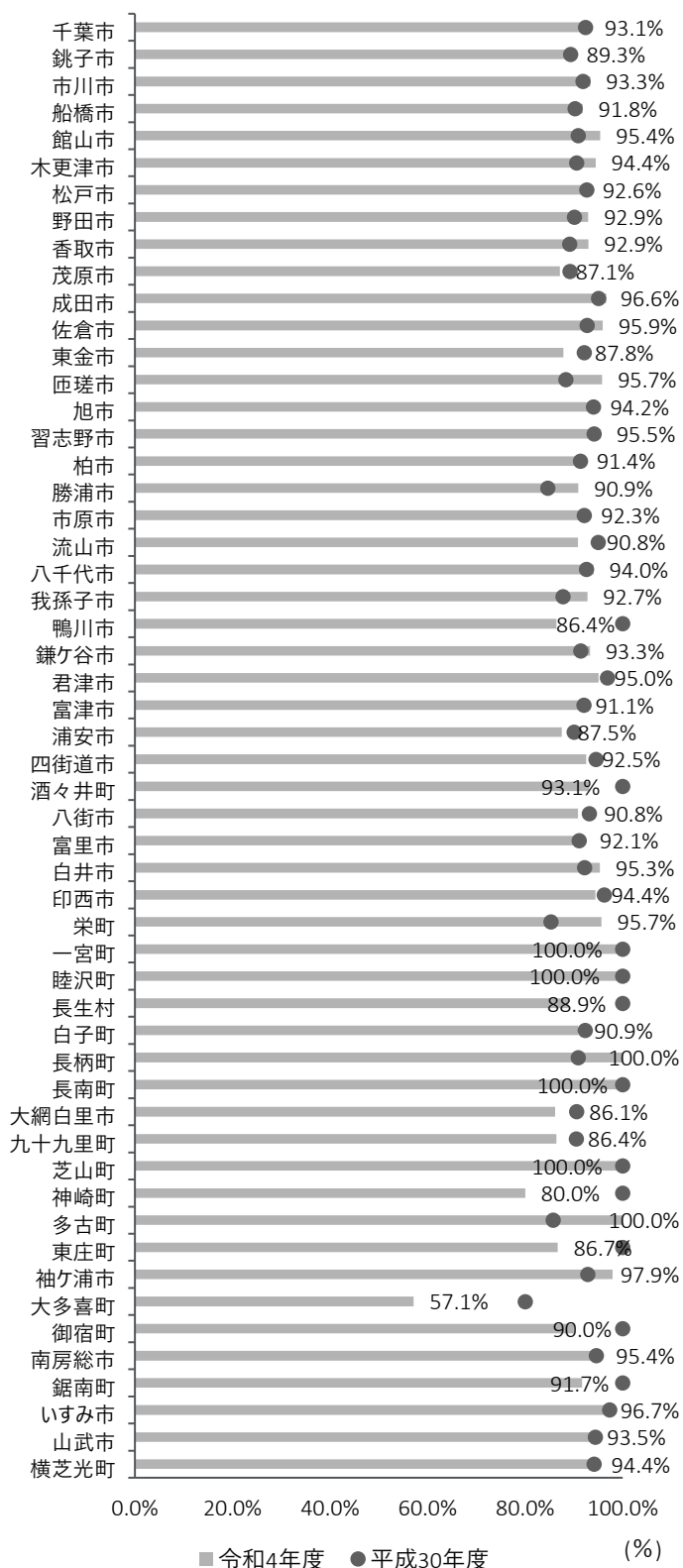
*本分析における重複投薬患者・多剤投与患者改善率の定義は以下の通り
重複投薬患者・多剤投与患者のうち、翌年度重複投薬・多剤投与が解消された者の割合

(6),(7)医薬品の重複投薬・医薬品の多剤投与

市町村別被保険者に占める重複投薬患者・多剤投与患者割合の改善率 (令和元～令和4年度)

市町村別重複投薬患者改善率

市町村別多剤投与患者改善率



※ グラフ内の数値は令和4年度の改善率

出所：KDBデータ（平成30年度～令和4年度）を用いてトーマツ作成

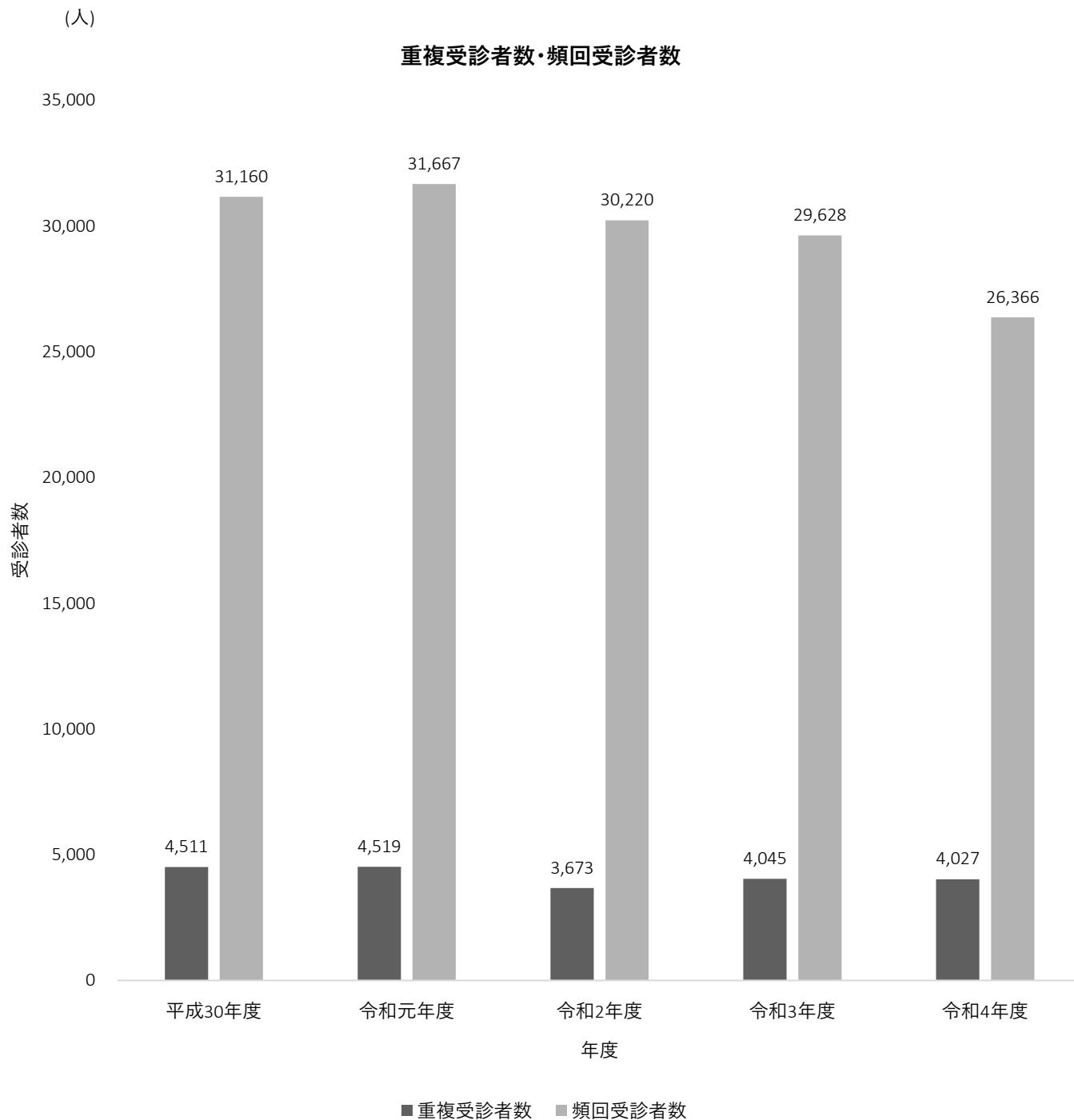
(8) 重複頻回受診者

- 1) 対象データ :KDBより「医療傷病名」「レセプト管理」「被保険者台帳」
2) 対象者 :国民健康保険被保険者
3) 評価指標及び分析方法: :評価指標及は表の通り

指標	定義等
重複受診者及び頻回受診者の人数	重複受診者：3か月連続して、同一疾病について同一月内において3か所以上の医療機関を受診している者 頻回受診者：3か月連続して、同一医療機関に同一月内において15回以上受診している者
重複受診者及び頻回受診者の疾病別人数及び割合	割合については、重複受診者及び頻回受診者を母数としICD-10中分類別に集計

(8)重複頻回受診者

県全体の重複受診者数及び頻回受診者数(平成30～令和4年度)



(8)重複頻回受診者

県全体の疾病分類別重複受診者・頻回受診者数及び割合 (平成30～令和4年度)

県全体の疾病分類別重複受診者数及び割合

ICD 中分類	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
G40-G47 挿間性及び発作性障害	772(17.1%)	807(17.9%)	694(18.9%)	733(18.1%)	706(17.5%)
K20-K31 食道、胃及び十二指腸の疾患	623(13.8%)	627(13.9%)	483(13.2%)	583(14.4%)	552(13.7%)
E10-E14 糖尿病	522(11.6%)	504(11.2%)	378(10.3%)	455(11.2%)	454(11.3%)
I10-I15 高血圧性疾患	457(10.1%)	461(10.2%)	383(10.4%)	429(10.6%)	432(10.7%)
K55-K64 腸のその他の疾患	358(07.9%)	371(08.2%)	278(07.6%)	351(08.7%)	357(08.9%)
M45-M49 脊椎障害	255(05.7%)	252(05.6%)	179(04.9%)	187(04.6%)	205(05.1%)
E70-E90 代謝障害	240(05.3%)	246(05.4%)	191(05.2%)	219(05.4%)	225(05.6%)
M50-M54 その他の脊柱障害	237(05.3%)	237(05.2%)	191(05.2%)	216(05.3%)	198(04.9%)
M15-M19 関節症	218(04.8%)	225(05.0%)	171(04.7%)	-	207(05.1%)
M80-M85 骨の密度及び構造の障害	207(04.6%)	220(04.9%)	173(04.7%)	181(04.5%)	-
J30-J39 上気道のその他の疾患	-	-	-	168(04.2%)	157(03.9%)

県全体の疾病分類別頻回受診者数及び割合

ICD 中分類	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
G40-G47 挿間性及び発作性障害	15,689(50.3%)	15,818(50.0%)	15,964(52.8%)	15,741(53.1%)	14,126(53.6%)
K20-K31 食道、胃及び十二指腸の疾患	12,692(40.7%)	12,577(39.7%)	12,465(41.2%)	12,234(41.3%)	10,691(40.5%)
E10-E14 糖尿病	12,477(40.0%)	12,514(39.5%)	12,603(41.7%)	12,338(41.6%)	10,807(41.0%)
I10-I15 高血圧性疾患	11,144(35.8%)	11,150(35.2%)	11,299(37.4%)	11,124(37.5%)	10,327(39.2%)
K55-K64 腸のその他の疾患	10,704(34.4%)	10,741(33.9%)	11,004(36.4%)	10,800(36.5%)	9,608(36.4%)
M45-M49 脊椎障害	8,625(27.7%)	8,658(27.3%)	8,595(28.4%)	8,391(28.3%)	7,224(27.4%)
E70-E90 代謝障害	8,409(27.0%)	8,501(26.8%)	8,599(28.5%)	8,603(29.0%)	7,423(28.2%)
M50-M54 その他の脊柱障害	7,485(24.0%)	7,492(23.7%)	7,668(25.4%)	7,663(25.9%)	7,150(27.1%)
M15-M19 関節症	7,107(22.8%)	7,145(22.6%)	7,263(24.0%)	7,082(23.9%)	6,123(23.2%)
M80-M85 骨の密度及び構造の障害	6,405(20.6%)	6,389(20.2%)	6,721(22.2%)	6,915(23.3%)	-
J30-J39 上気道のその他の疾患	-	-	-	-	6,174(23.4%)

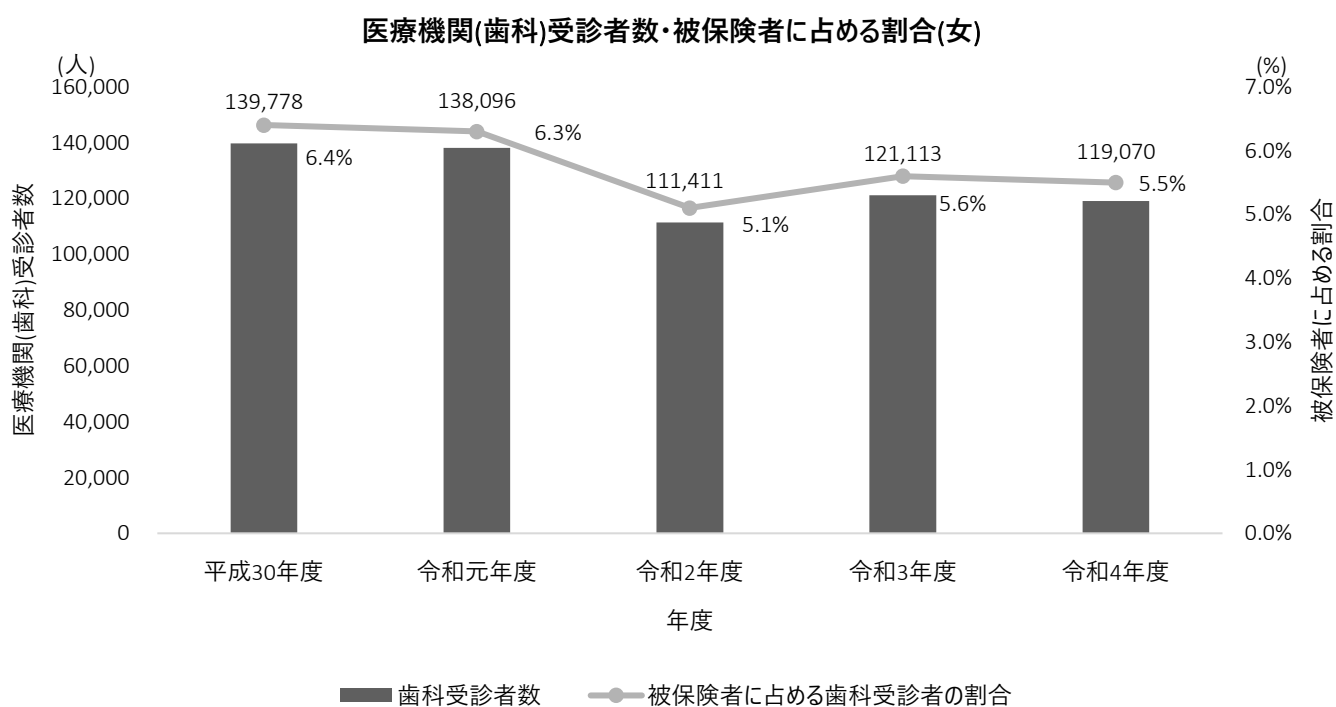
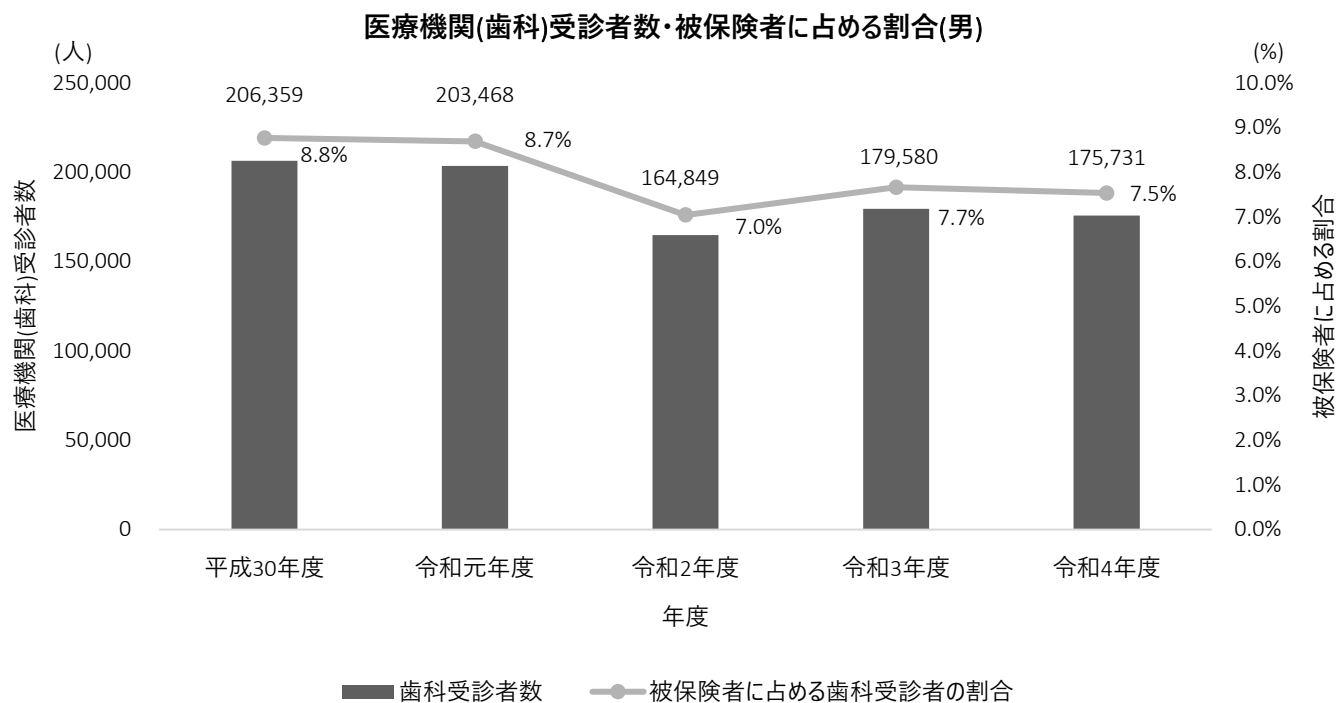
(9) 歯科の受診状況

- 1) 対象データ :KDBより「レセプト管理」「健診結果」「被保険者台帳」
 2) 対象者 :国民健康保険被保険者
 3) 評価指標及び分析方法: :評価指標及は表の通り

指標	定義等
医療機関（歯科）受診者数及び被保険者全体に占める割合	歯科のレセプト件数
特定健診での質問、「食事をかんで食べる時の状態」の各回答者の歯科受診状況及び歯科一人あたり医療費	健診結果については ① 何でもかんで食べることができる ② 歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある ③ ほとんどかめない ごとに集計

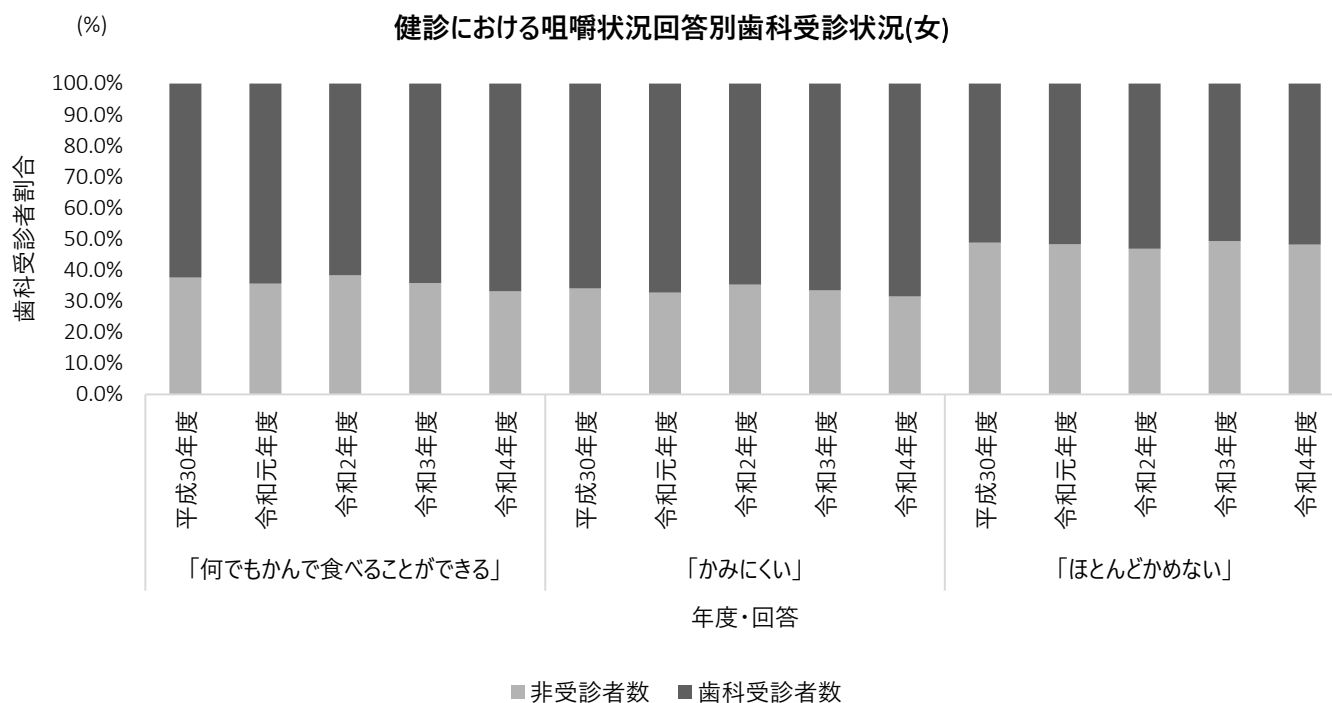
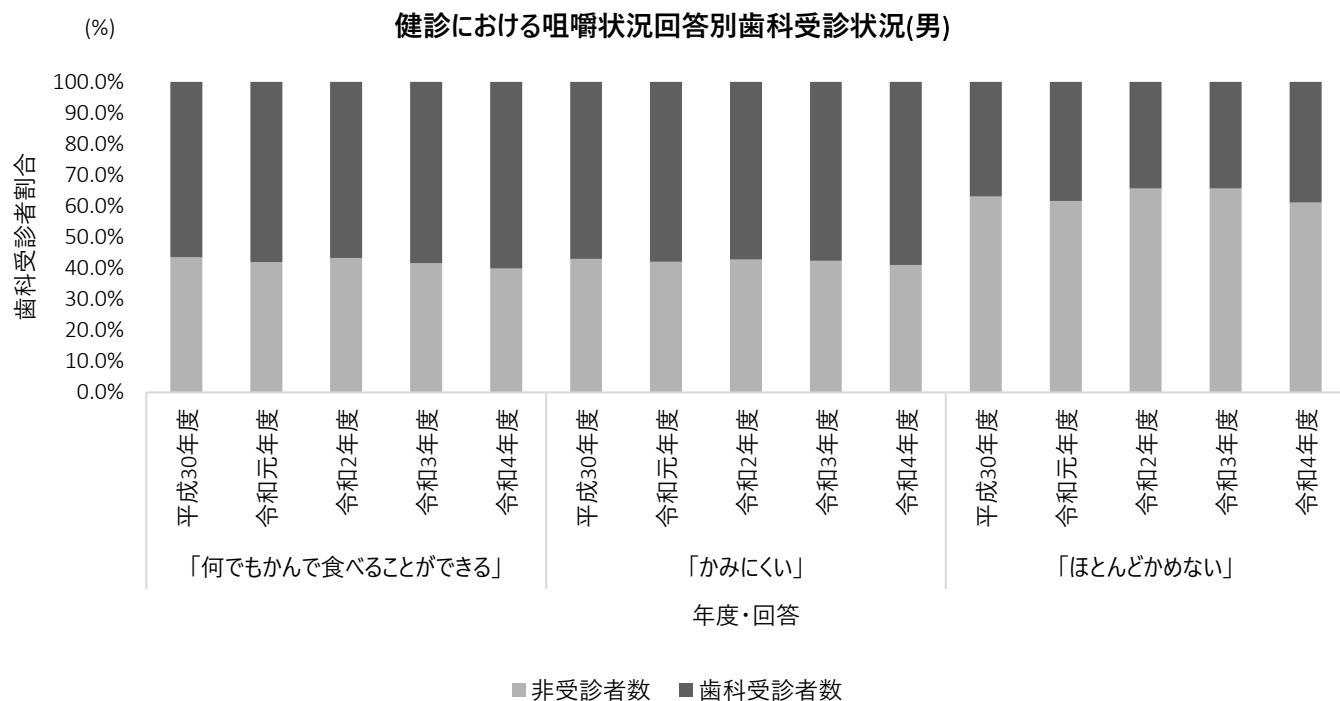
(9) 歯科の受診状況

県全体の医療機関(歯科)受診者数及び被保険者に占める割合 (平成30～令和4年度)



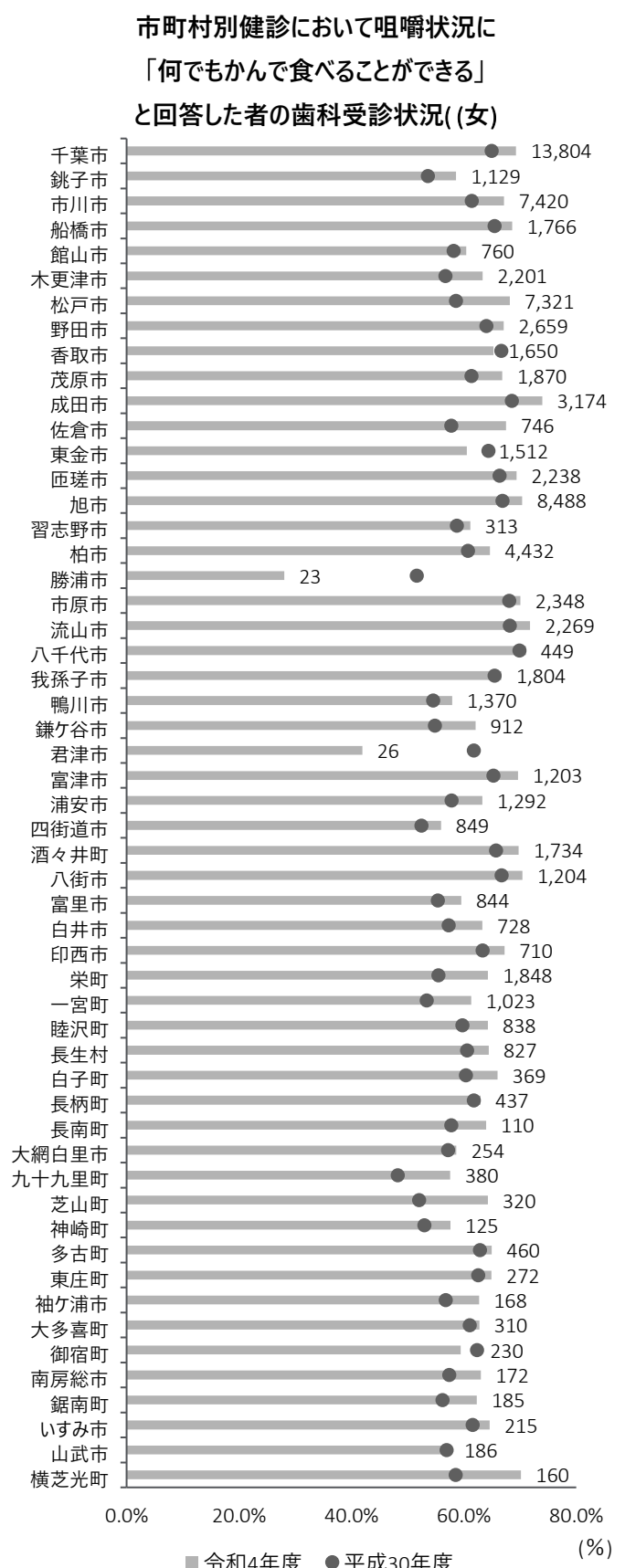
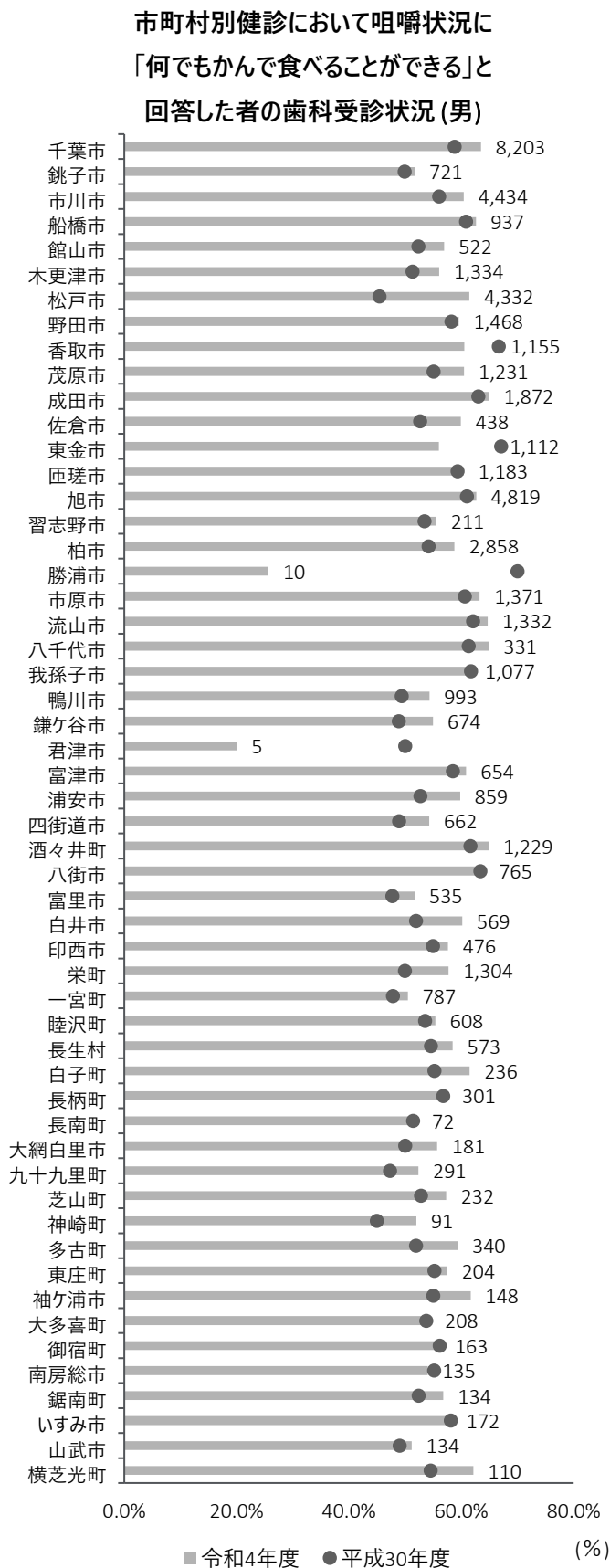
(9) 歯科の受診状況

県全体の健診における咀嚼状況回答別歯科受診状況 (平成30～令和4年度)



(9) 歯科の受診状況

市町村別健診において咀嚼状況に「何でもかんで食べることができる」と回答した者の歯科受診状況(平成30～令和4年度)

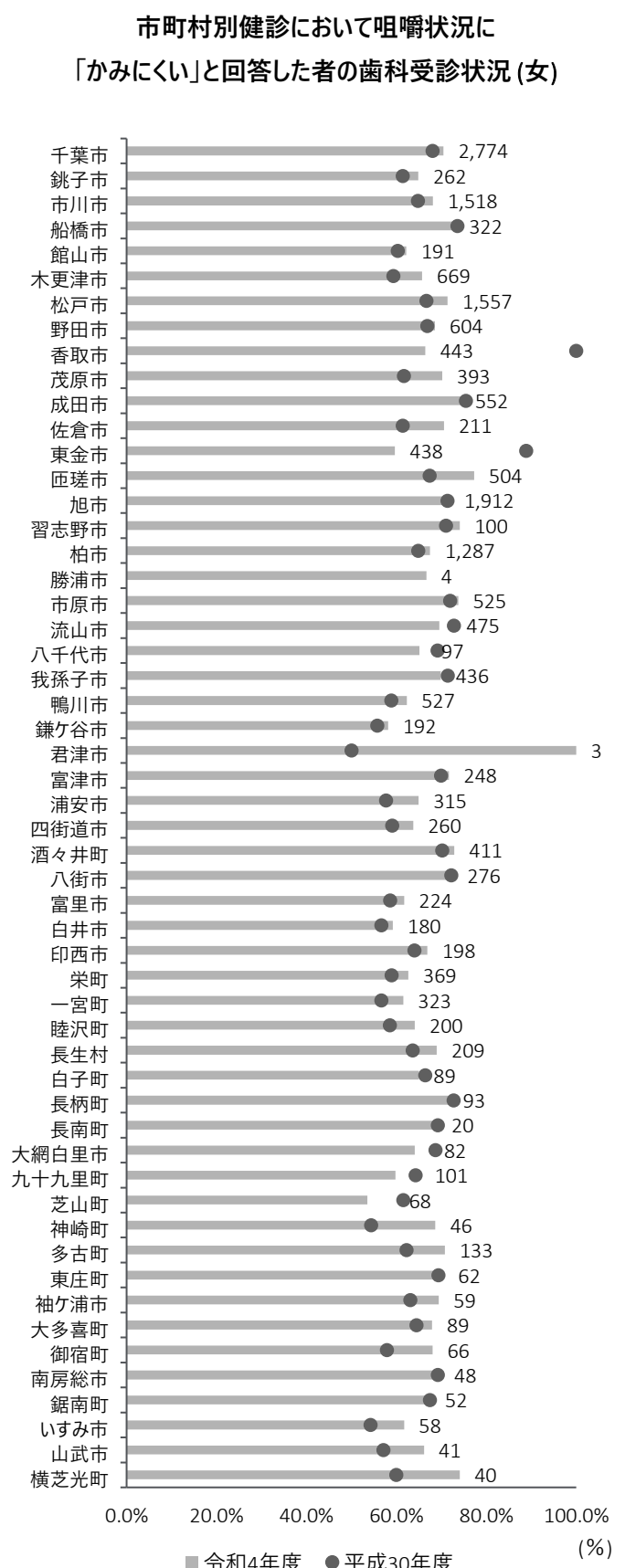
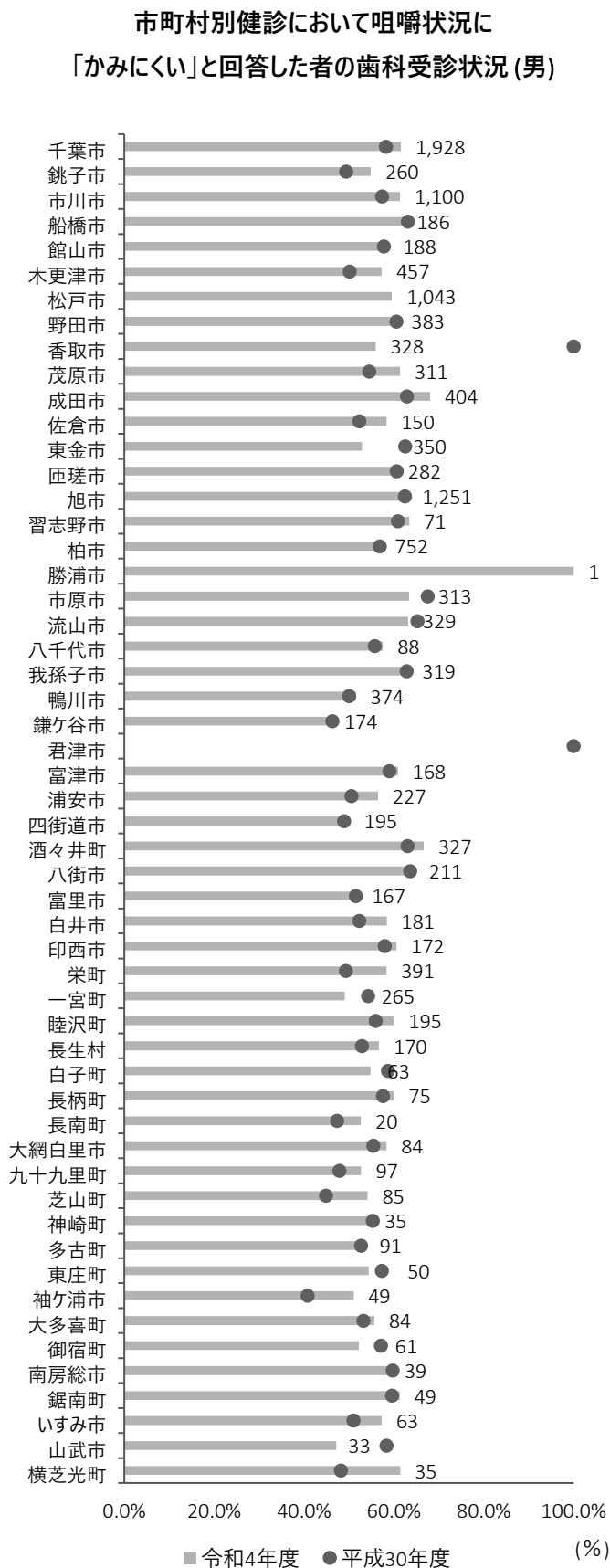


※ グラフ内の数値は令和4年度の歯科受診者数

出所：KDBデータ（平成30年度～令和4年度）を用いてトーマツ作成

(9) 歯科の受診状況

市町村別健診において咀嚼状況に「かみにくい」と回答した者の歯科受診状況(平成30～令和4年度)

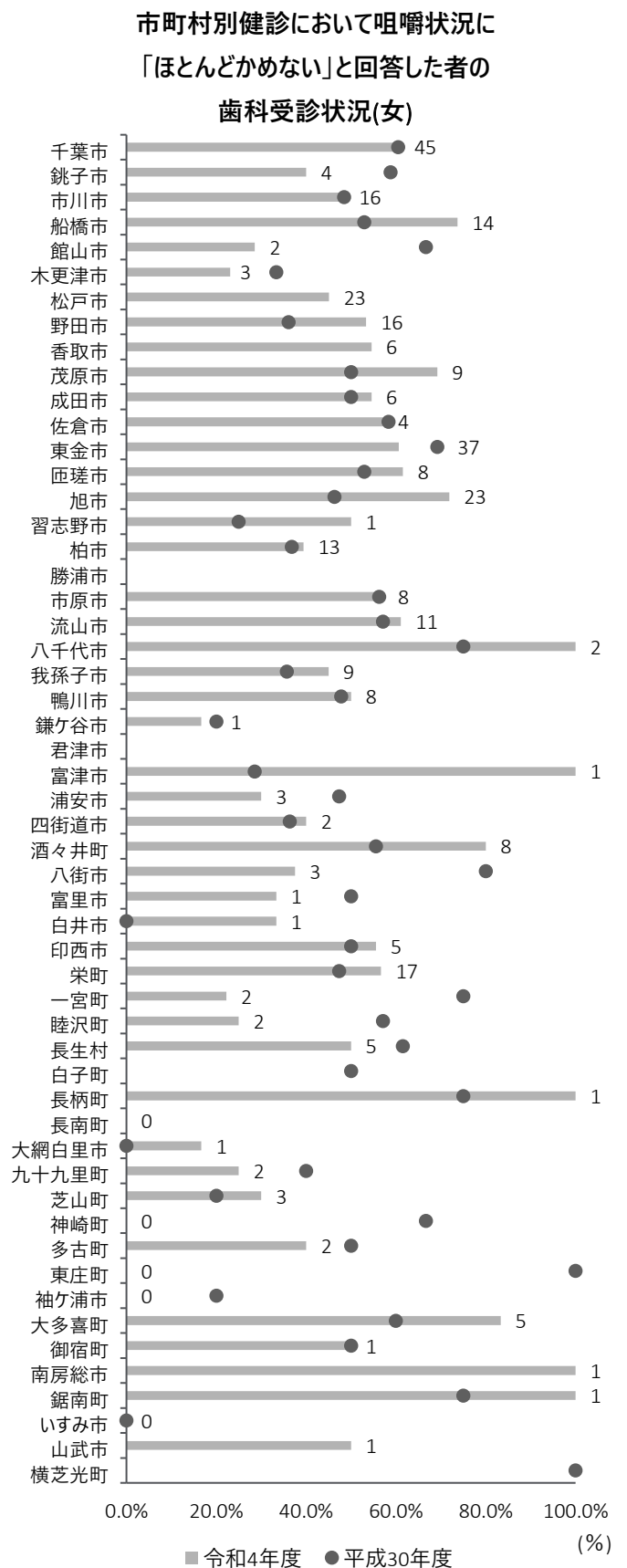
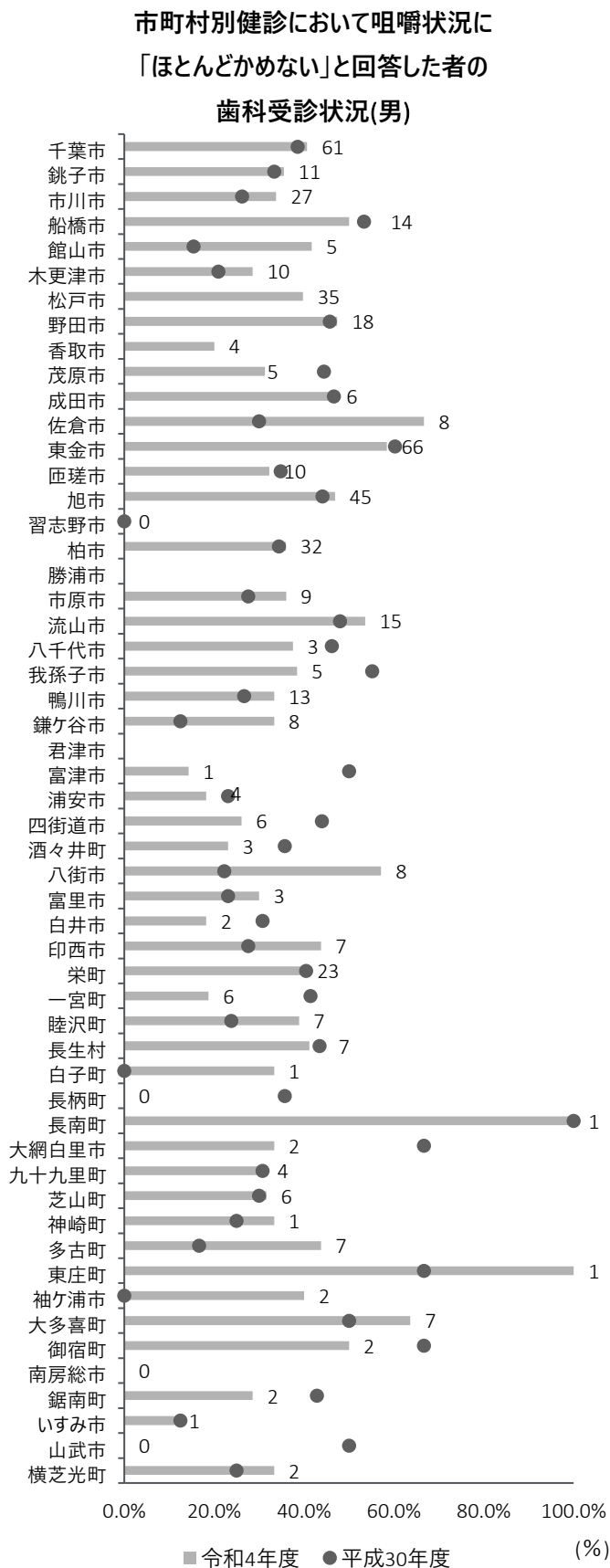


※ グラフ内の数値は令和4年度の歯科受診者数

出所：KDBデータ（平成30年度～令和4年度）を用いてトーマツ作成

(9) 歯科の受診状況

市町村別健診において咀嚼状況に「ほとんどかめない」と回答した者の 歯科受診状況(平成30～令和4年度)

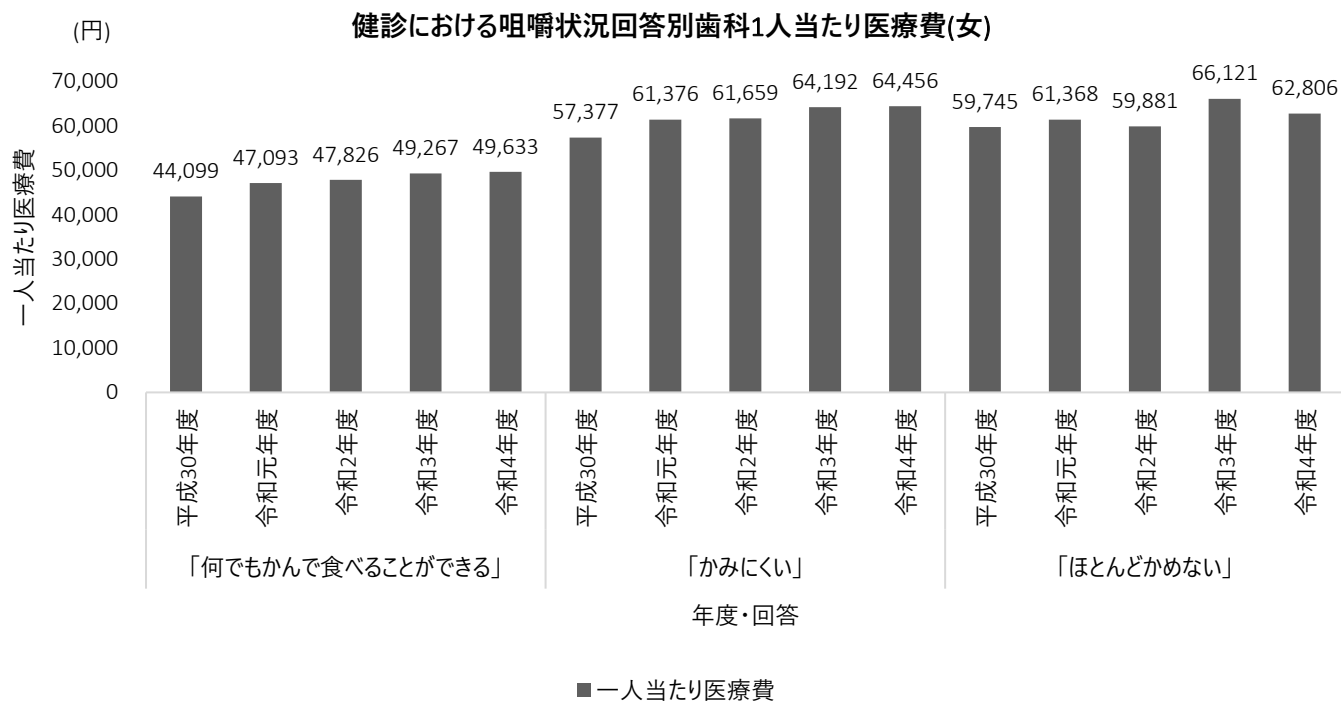
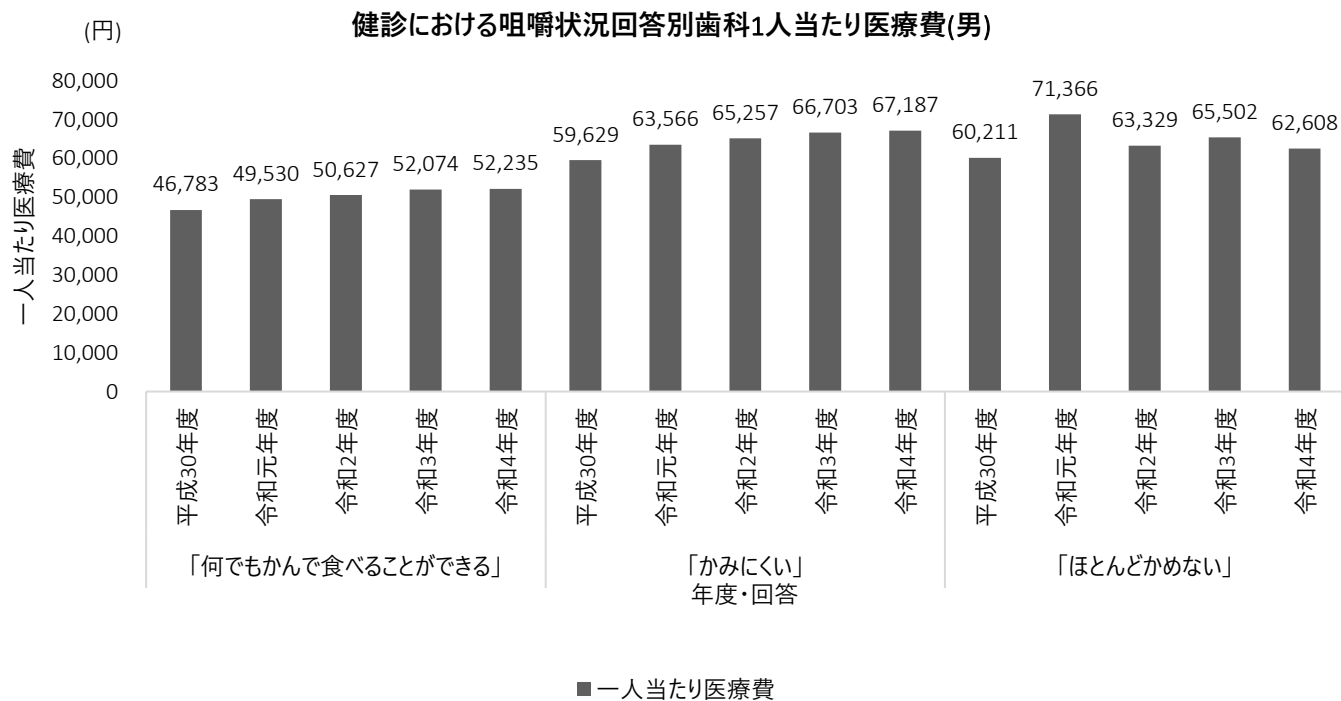


※ グラフ内の数値は令和4年度の歯科受診者数

出所：KDBデータ（平成30年度～令和4年度）を用いてトーマツ作成

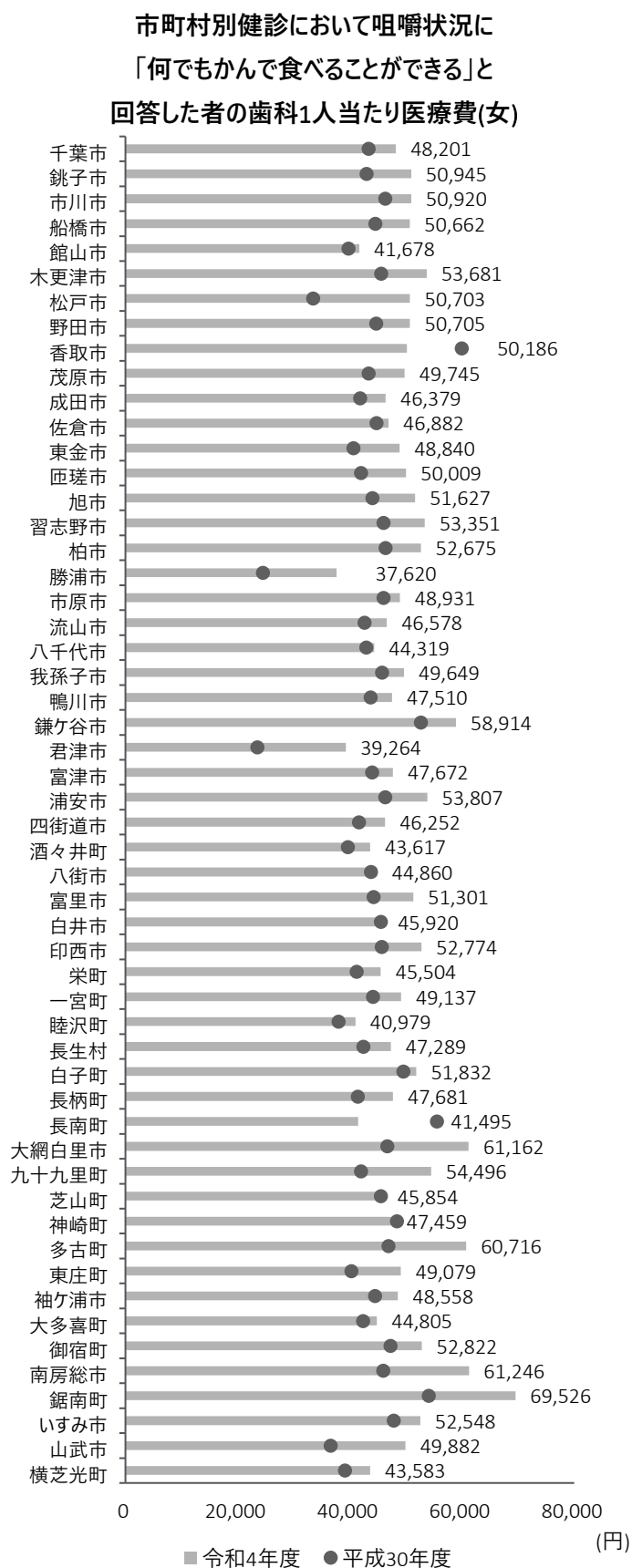
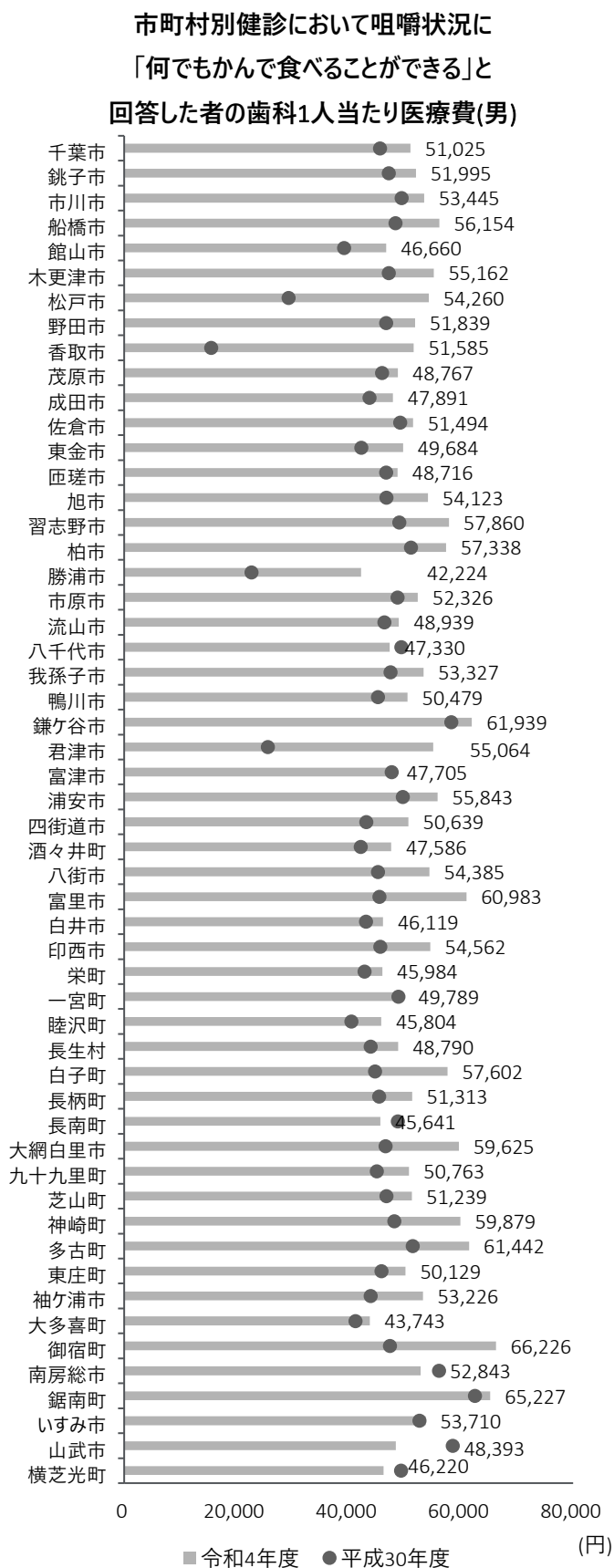
(9) 歯科の受診状況

県全体の健診における咀嚼状況回答別歯科1人当たり医療費 (平成30～令和4年度)



(9) 歯科の受診状況

市町村別健診において咀嚼状況に「何でもかんで食べることができる」と回答した者の歯科1人当たり医療費(平成30～令和4年度)

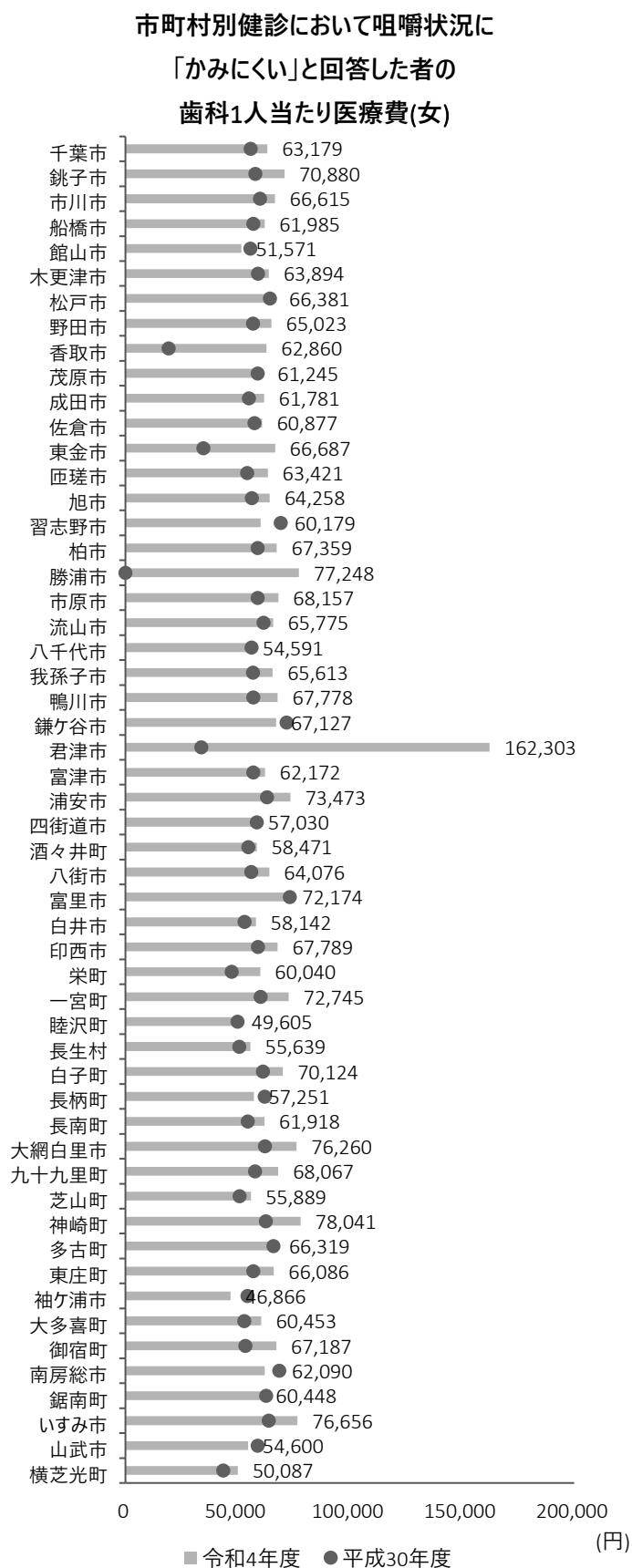
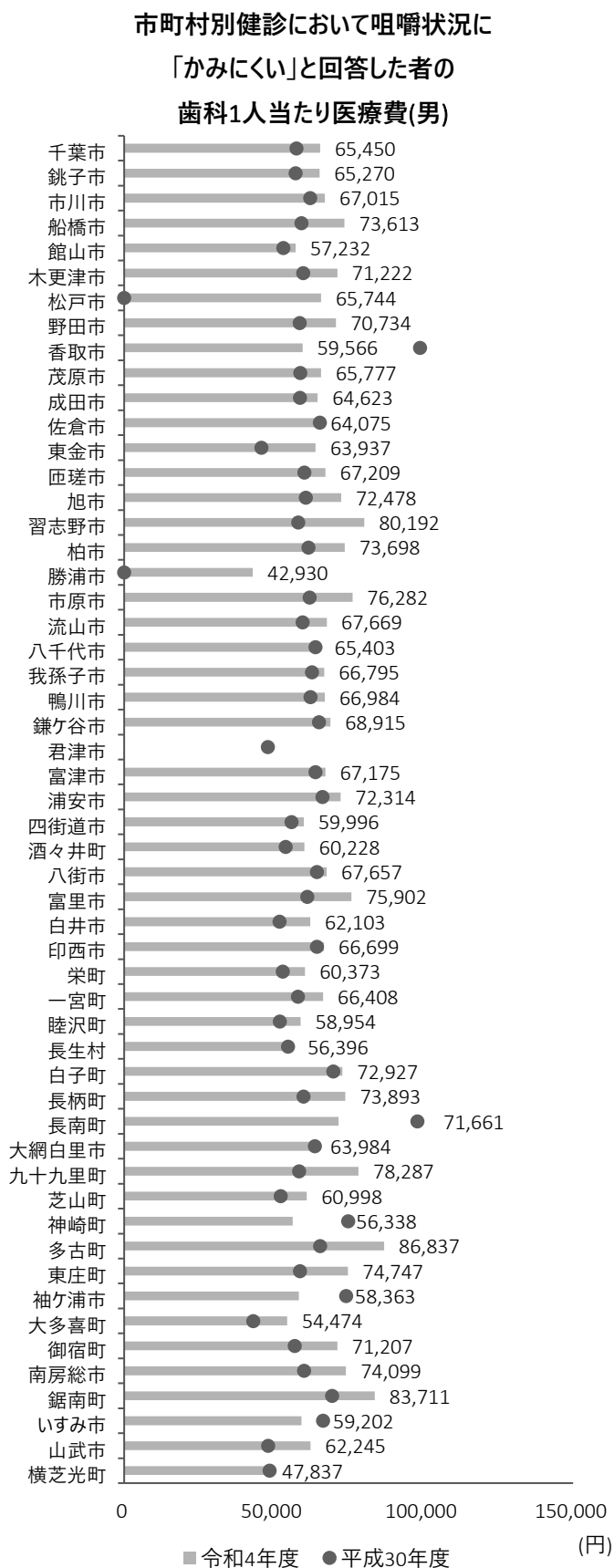


※ グラフ内の数値は令和4年度の歯科1人当たり医療費

出所：KDBデータ（平成30年度～令和4年度）を用いてトーマツ作成

(9) 歯科の受診状況

市町村別健診において咀嚼状況に「かみにくい」と回答した者の歯科1人当たり医療費(平成30～令和4年度)

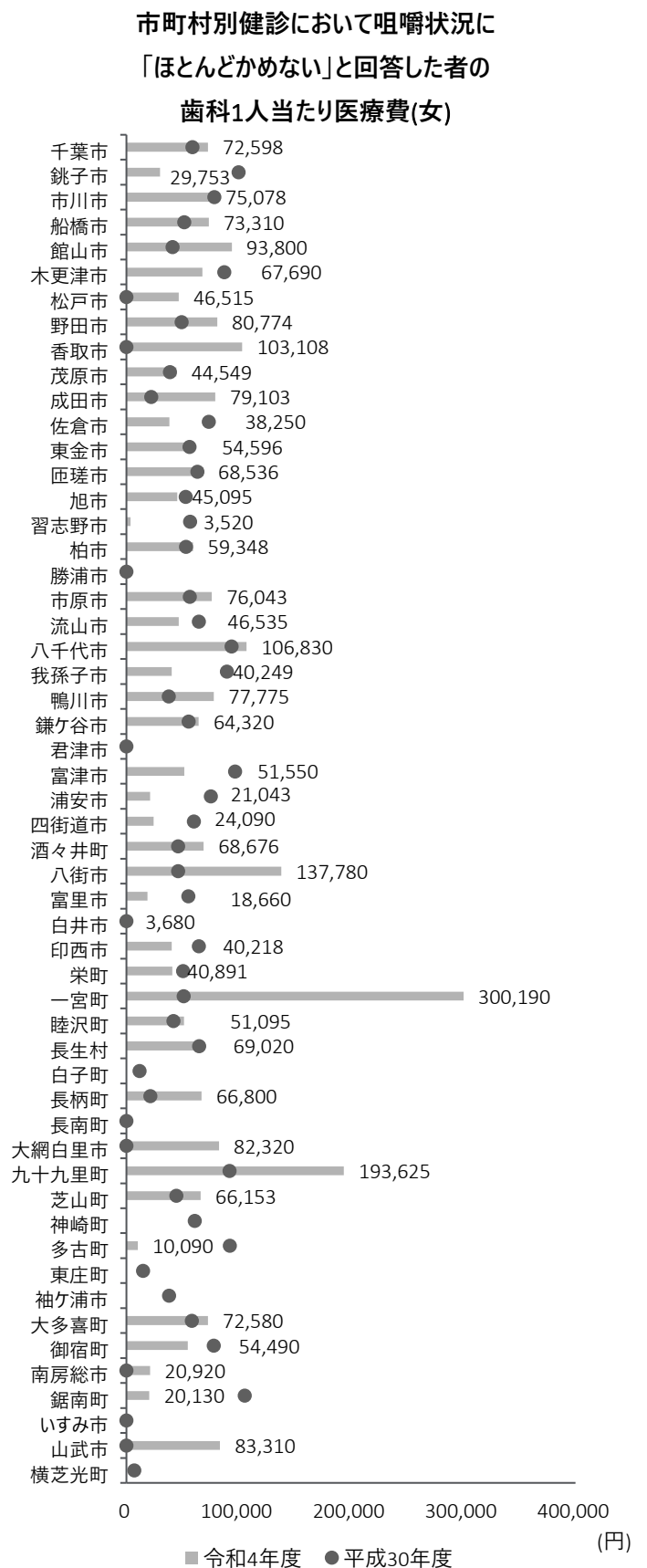
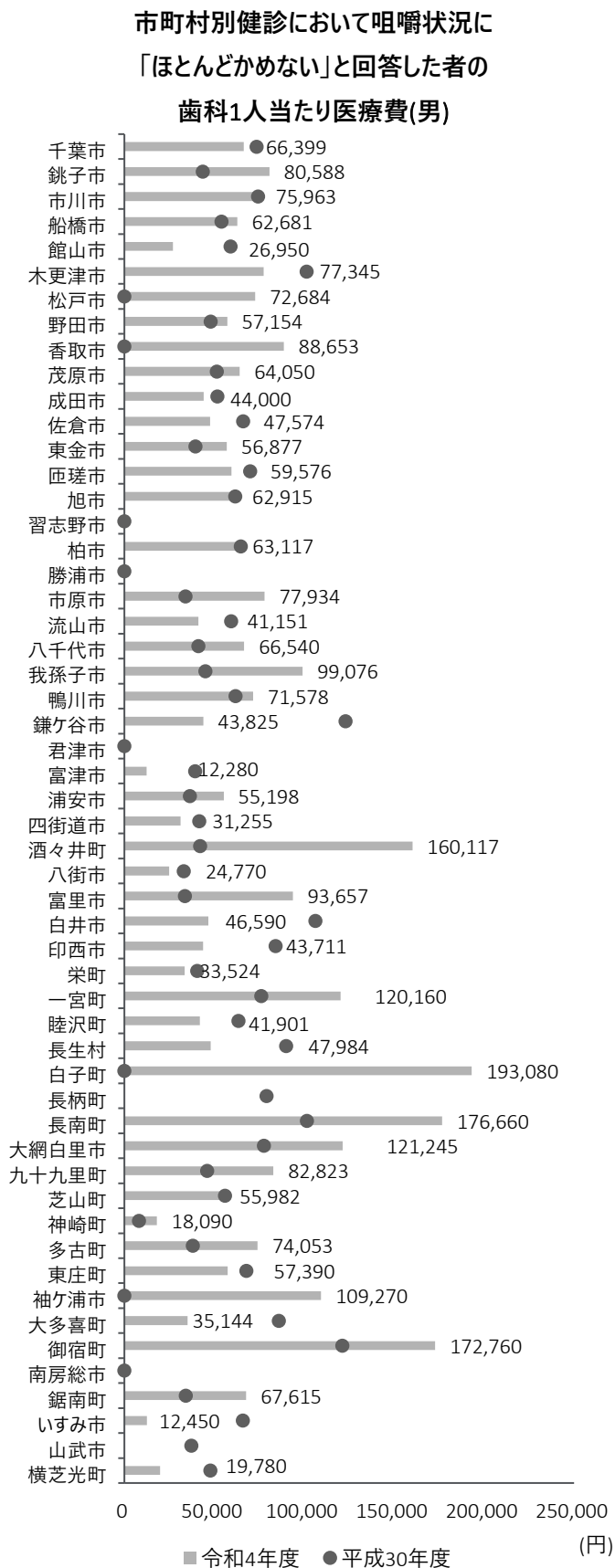


※ グラフ内の数値は令和4年度の歯科1人当たり医療費

出所：KDBデータ（平成30年度～令和4年度）を用いてトーマツ作成

(9) 歯科の受診状況

市町村別健診において咀嚼状況に「ほとんどかめない」と回答した者の 歯科1人当たり医療費(平成30～令和4年度)



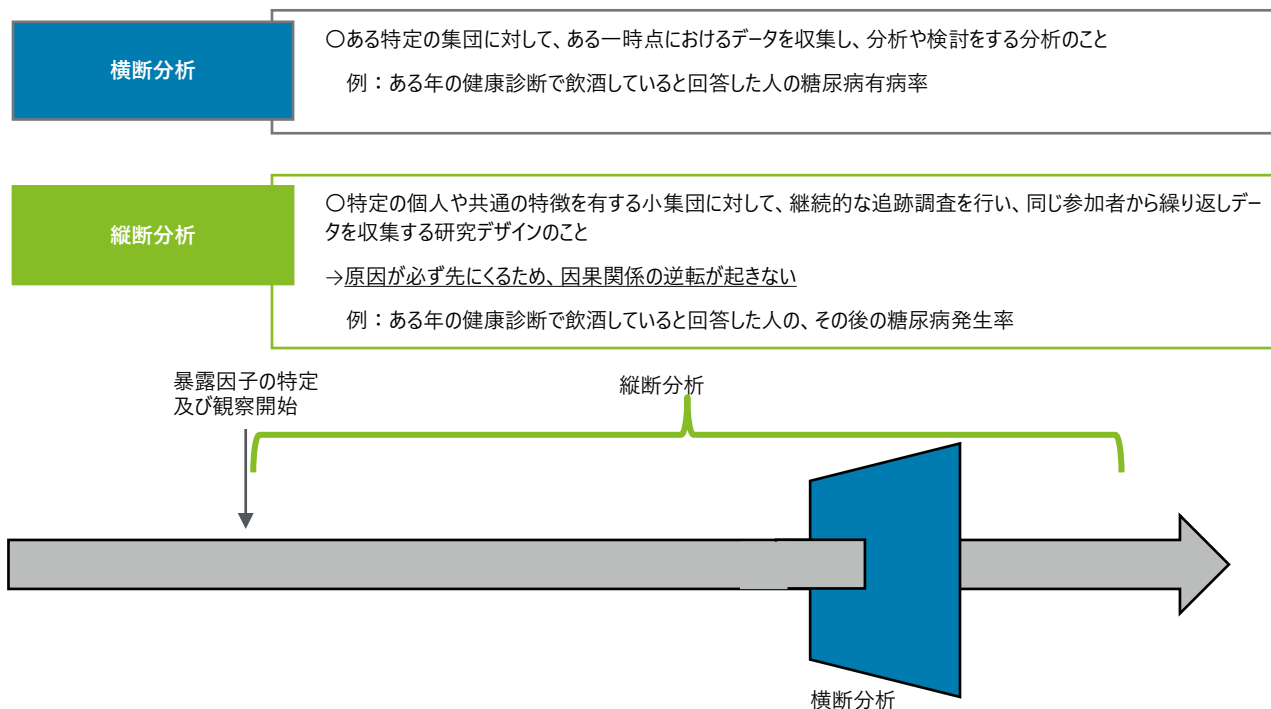
※ グラフ内の数値は令和4年度の歯科1人当たり医療費

出所：KDBデータ（平成30年度～令和4年度）を用いてトーマツ作成

(10)その他の項目 糖尿病性腎症非透析患者の透析につながりやすい生活習慣について

- 1) 対象データ :KDBより「レセプト管理」「健診結果」「被保険者台帳」
 2) 対象者 :国民健康保険被保険者のうち糖尿病性腎症非透析患者

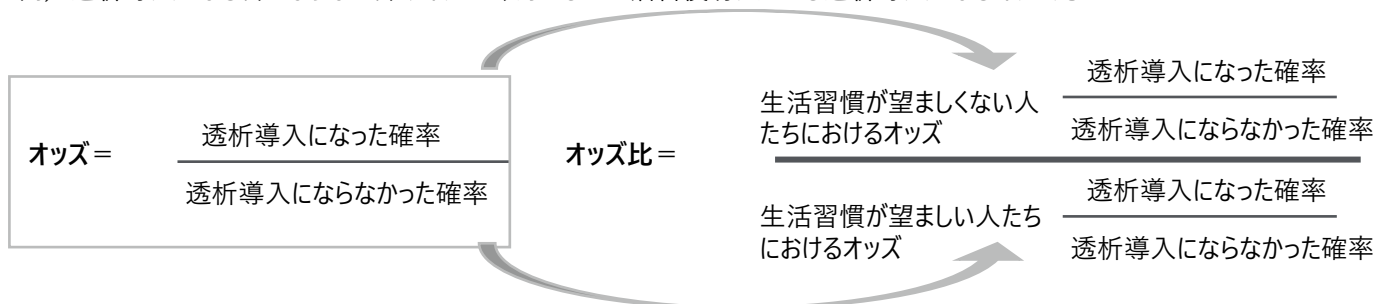
①横断分析と縦断分析について



②オッズ比について

オッズとは(ある事象が起こる確率)/(事象が起こらない確率)であらわされ、さらに、暴露の有無でオッズの比を算出したものをオッズ比と呼びます



例) 透析導入になる群とならない群のオッズと、好ましい生活習慣有無による透析導入になるオッズ比

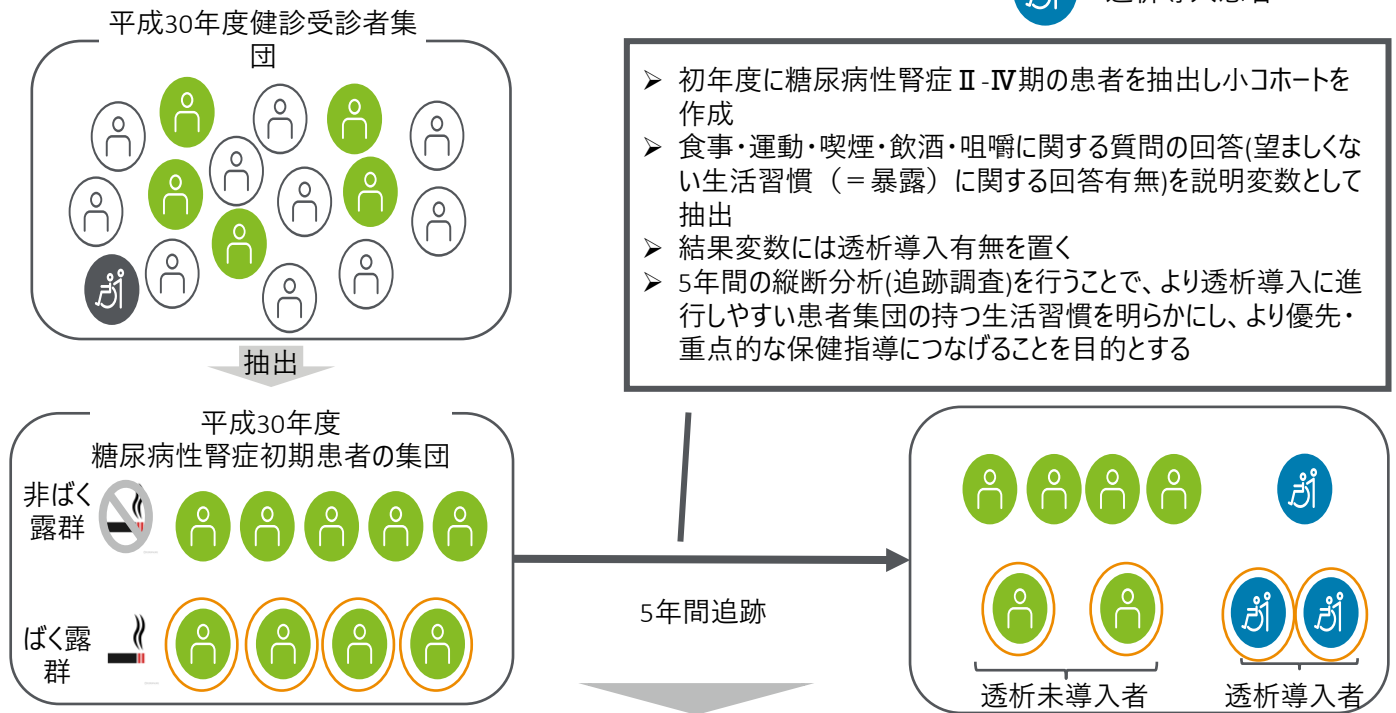


オッズ比が1よりも多き場合、その因子（この場合望ましくない生活習慣）が事象（この場合透析導入）につながりやすいと考えることができます。

(10)その他の項目 糖尿病性腎症非透析患者の透析につながりやすい生活習慣について

③今回分析を行った内容

 糖尿病性腎症Ⅱ～Ⅳ期
 透析導入患者



暴露群と非ばく露群で透析導入になったオッズを比較

ばく露群 : 非ばく露群

喫煙：はいと回答した人 → ○倍

咀嚼：かみにくいorほとんど噛めないと回答した人 → △倍

食事：…

運動：…

飲酒：…

オッズ比

オッズ比が高いと、その因子の影響力が大きいといえる

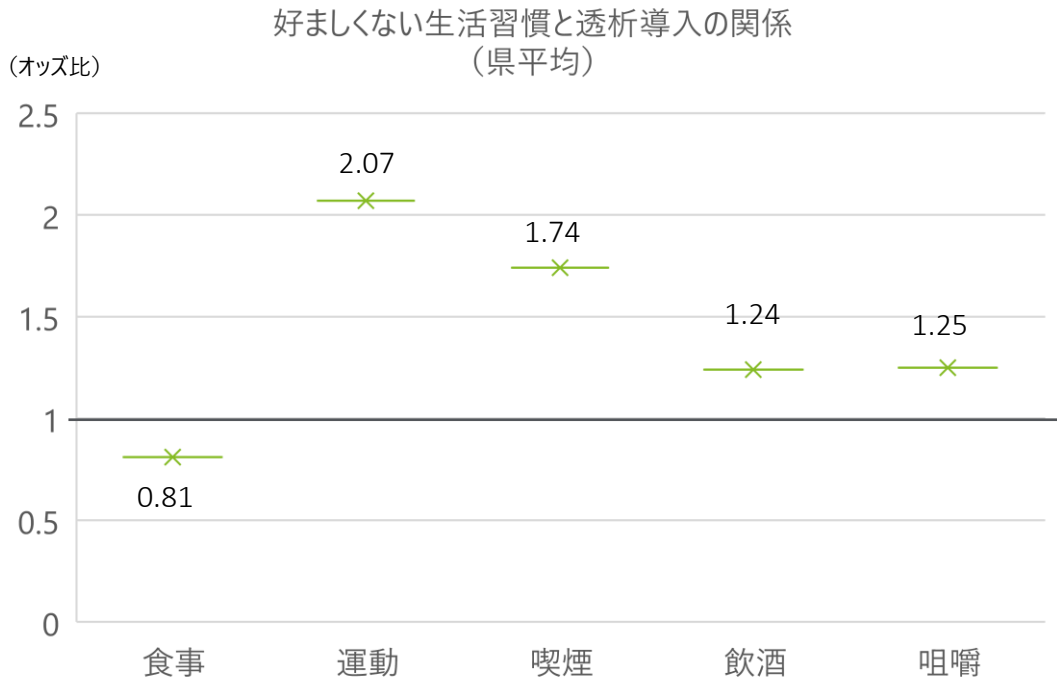
暴露群の定義	平成30年度の特定健診において以下の通り回答
ア) 食事	<ul style="list-style-type: none"> ・早食い等 → : 速い ・就寝前 → : はい ・食べ方(夜食/間食) → : 毎日 いずれかに該当
イ) 運動	<ul style="list-style-type: none"> ・30分以上の運動習慣 → いいえ ・歩行又は身体活動 → いいえ ・歩行速度 → いいえ いずれかに該当
ウ) 喫煙	喫煙 → はい に該当
エ) 飲酒	飲酒量 → 1～2合未満、2～3合未満、3～5合未満、5合以上 いずれかに該当
オ) 咀嚼	咀嚼 → かみにくい、ほとんどかめない いずれかに該当

④考察

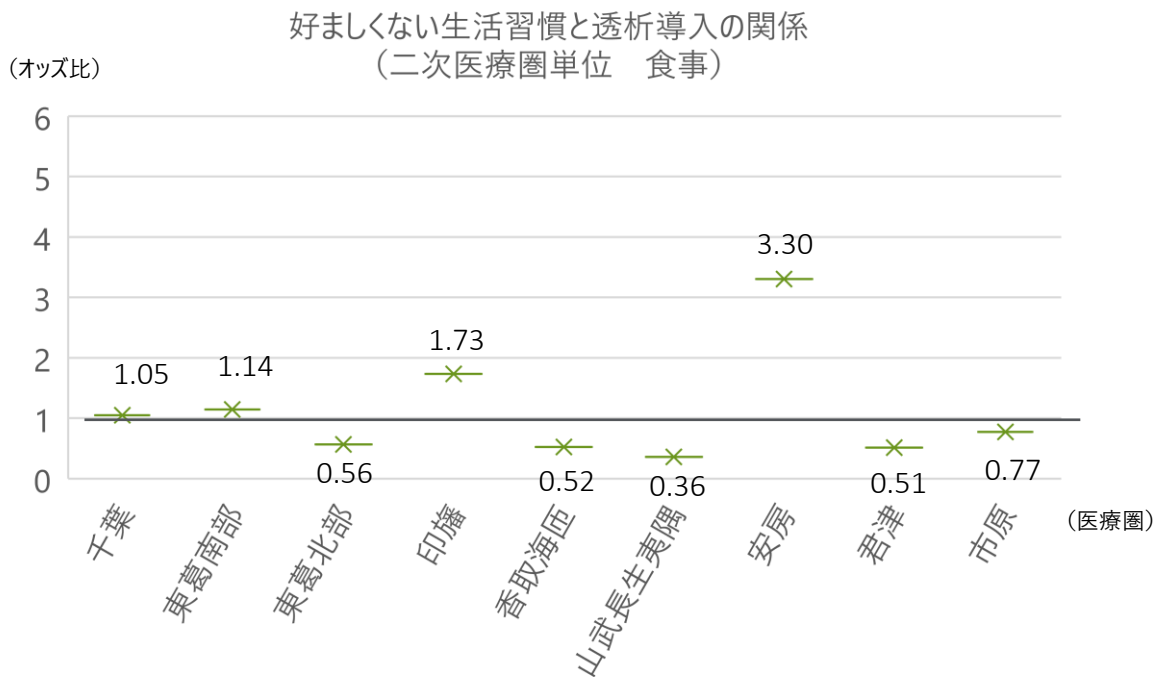
県平均でみると、運動、喫煙、飲酒、咀嚼はオッズ比は1を超えており、透析導入につながりやすいという結果が得られました。中でも運動習慣についてはオッズ比は2を超えていました。一方、食事については0.81と1を下回っていましたが、これは、食事については、年齢などの交絡因子が介入している可能性があります。医療圏単位でみると、いくつかの項目でオッズ比が0となっていました。これは、該当の生活習慣で透析導入に進展した人がいなかったという結果ですが、県全体より対象人数がすくなくなるため、発生した事象の可能性がありません。

(10)その他の項目 糖尿病性腎症非透析患者の透析につながりやすい生活習慣について

⑤ 結果
県平均



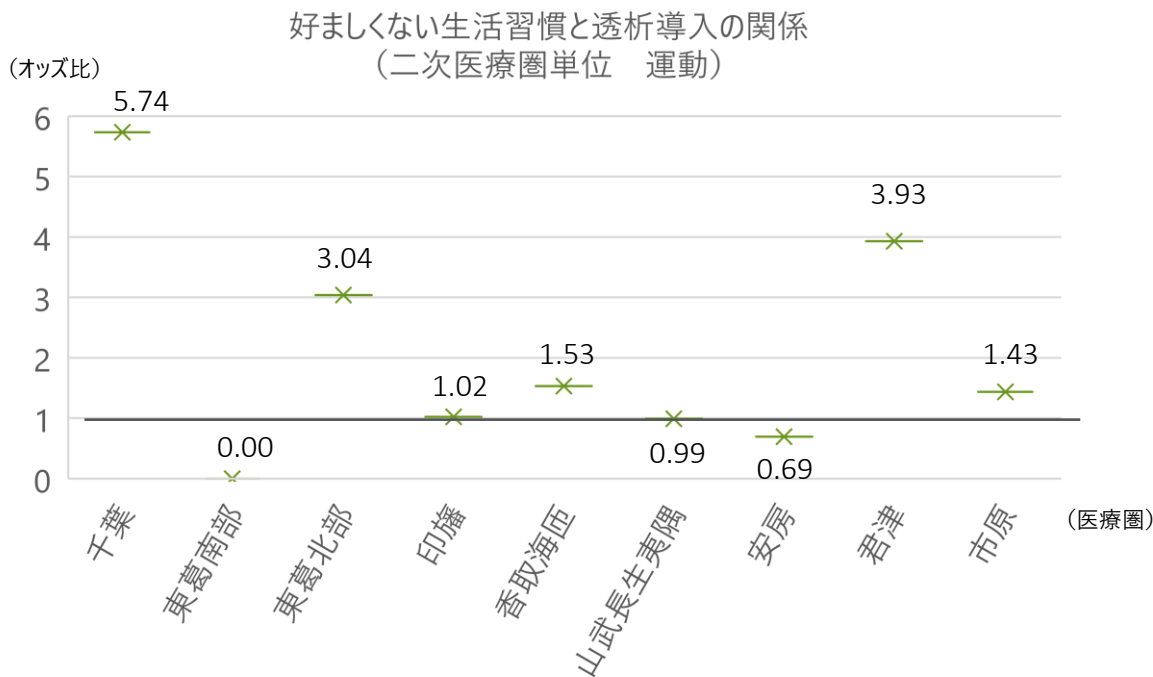
⑤ 結果
二次医療圏ごと ア) 食事



(10)その他の項目 糖尿病性腎症非透析患者の透析につながりやすい生活習慣について

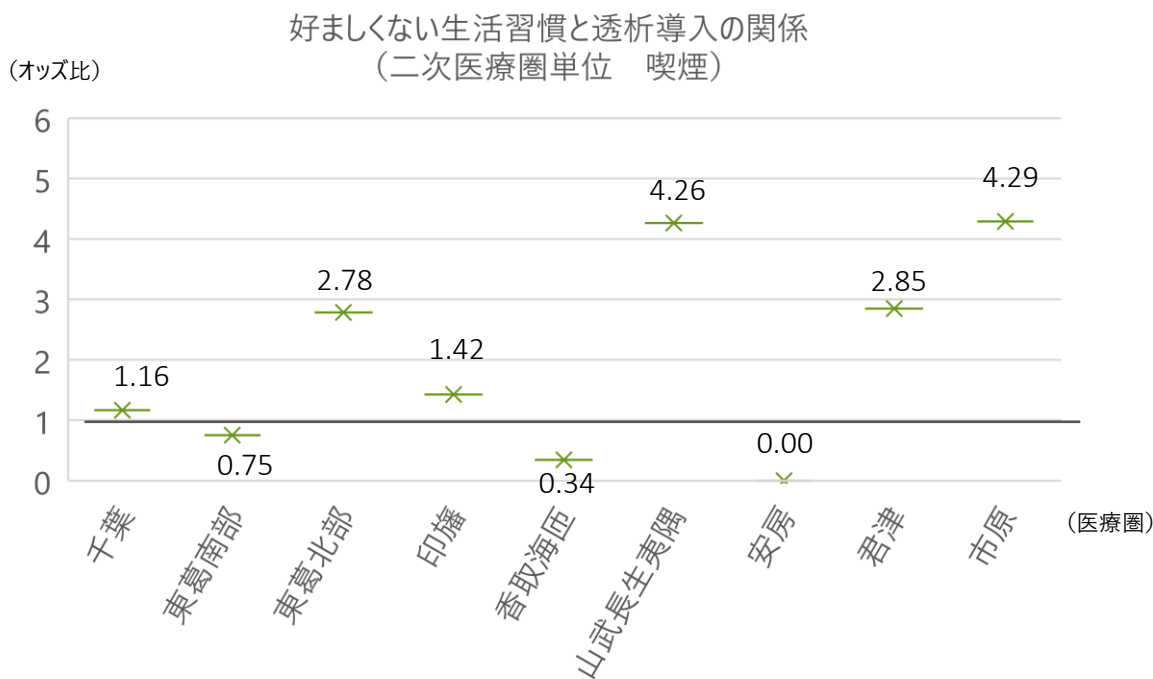
⑤ 結果

二次医療圏ごと イ) 運動



⑤ 結果

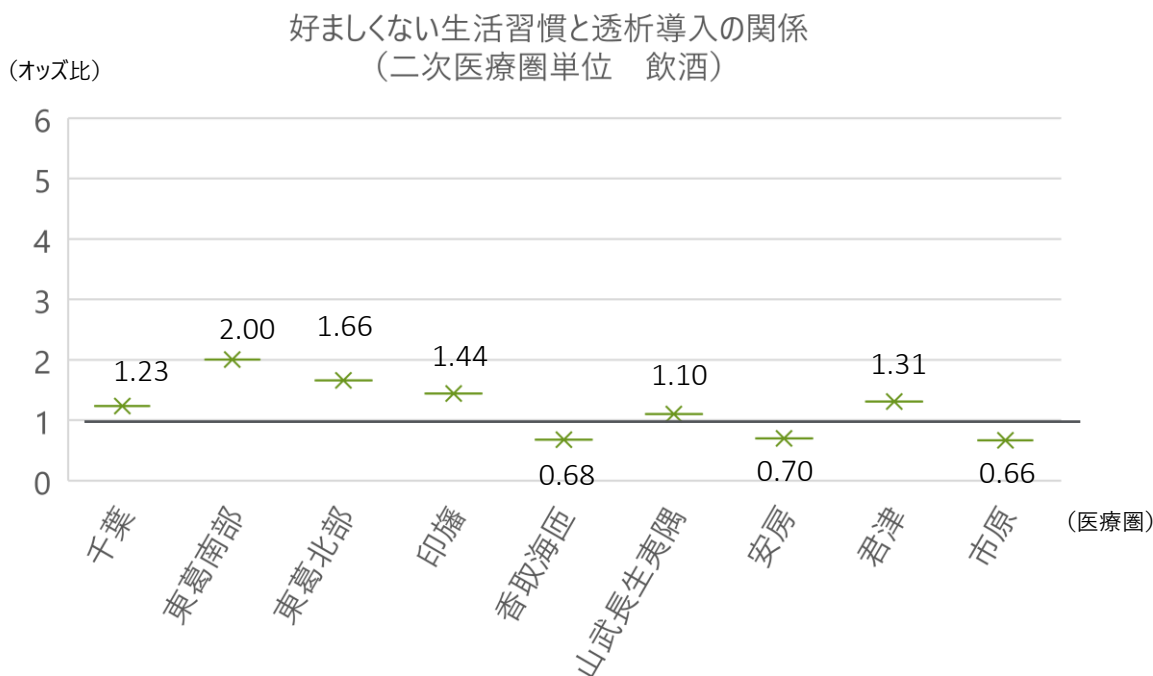
二次医療圏ごと ウ) 喫煙



(10)その他の項目 糖尿病性腎症非透析患者の透析につながりやすい生活習慣について

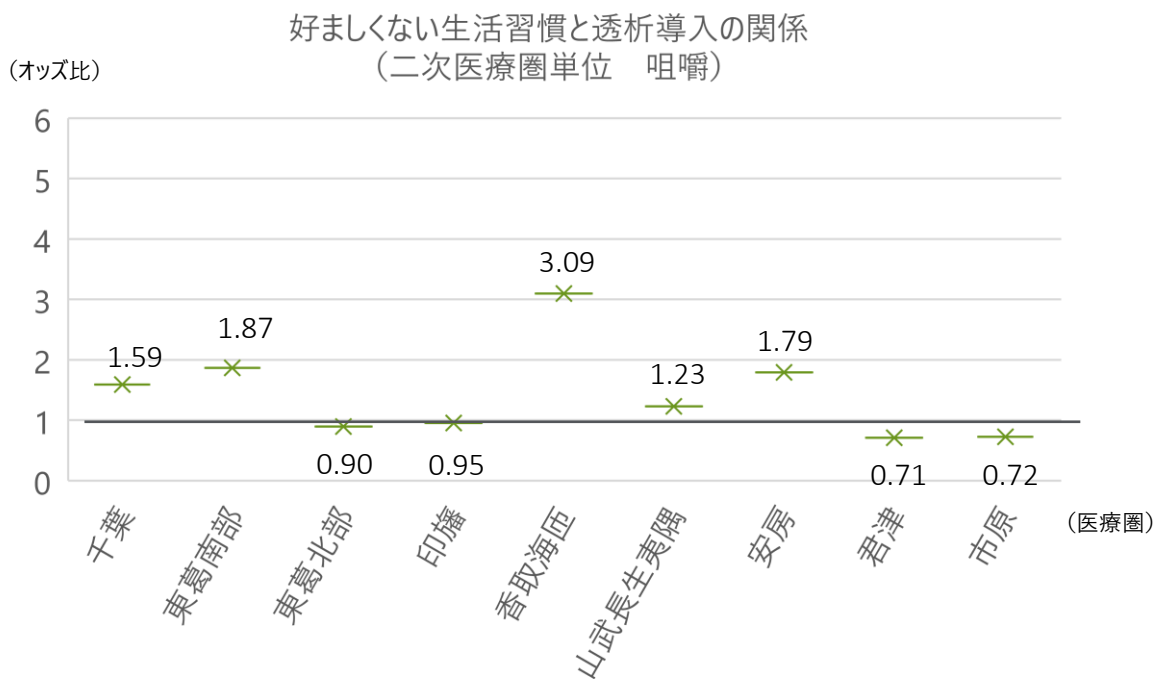
⑤ 結果

二次医療圏ごと I) 飲酒



⑤ 結果

二次医療圏ごと オ) 咀嚼



令和5年度千葉県国保ヘルスアップ支援事業
特定健診・レセプトデータ等分析結果報告書